京城日報
二十七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

總督告辭

長谷川總督は二十七日工業專門學校及び附屬傳習所卒業式に臨み左の告辭を爲せり

京城工業專門學校及び附屬工業傳習所卒業生諸子

諸子志を立てゝ本校に入りしより研鑽怠らず茲に本校所定の課程を卒り將に出て實務に就かんとす寔に賀すべきなり惟ふに現今朝鮮の工業は未だ進步の域に達せざるも其原料多大にして有爲の人を待つこと極めて切なり諸子宜しく時勢の進運に鑑み其習得したる知識技術を活用すると共に益々學術を研究し技能を練磨するは勿論人格の修養品位の向上に至りても常に愼密の用意を怠らず以て其職務を完うせんことを期すべし

○獨對露條約可決

獨逸帝國議會は露國及び芬蘭との諸條約を可決せり（巴里電報）

○高架索講和承認

土軍司令官は高架索自治政府の提議せる單獨講和協商開始を承認せり（倫敦電報）

○獨砲擊雲煙過眼

巴里市民は獨逸の愚劣なる砲擊に呆れ雲煙過眼視し居れり獨軍の砲彈は廿四發巴里郊外に落下せしにも拘はらず巴里市中は群衆雜沓し市民は全く無關係の狀況なり（巴里電報）

○獨軍射擊砲裝置

獨軍の遠距離射擊砲は其砲彈に發射後新威力を有するやう機械的の裝置あるか又は從來使用せられつゝある火藥よりも一層威力大なるものを用ひつゝあるならんと推測さる（巴里電報）

○羅國新內閣成立

羅馬尼講和談判行惱の結果アベルスク內閣倒れマルギロマン親獨派新內閣を組織せり（瑞西電報）

第四十回帝國議會（東京特電）

貴族院（廿六日）

▲本會議 ＝稲瀬延着＝

廿六日午前十時開議、諸般の報告あり日程に入り、細川護立侯、請願委員長として委員會の經過報告あり、本期議會に於ける受領總數三百件中採擇せしもの四十件院議に附するを要せざるもの百三十五件他は審查未了なりと述べ次で追加豫算案九案を一括して議題に供し、豫算委員長

▼淺田德則氏 登壇、總會分科會の經過並に各案に就き重要なる歲出の項目に亙り質議應答を詳述し、結局、淀川改修工事六箇年繼續事業五百九十七萬圓に對しも第三分科に於ては是れを認むるも竣工の後に於ける保護に就ては水防工事に一層注意あらん事を望むとの希望あり猶ほ會期切迫せる折柄追加豫算案の濫發は會計法規に觸るゝ廢あるを以て追加豫算提出に就ては政府は將來愼重審議を遂げ會計法第五條の解釋に就き最も嚴格ならん事を望むとの希望は總會の決議として提出する事とし追加豫算全部は原案可決せりと報告し異議無く可決次に大正五年度豫備金支出の件以下承諾を求むる件八件を一括して議題に供し委員長報告の通り可決し零時四十分休憩

午後一時再開、寺島伯の動議にて日程を變更し

軍需工業動員法案

委員長寺島伯報告通り附帶決議として二個の希望條件を附し下院の修正通り可決確定

日本興業銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中改正法律案

兩案一括して松浦厚伯委員會の經過報告通り可決確定

…りて本野外相の衆議院に於ける●●●●●●●●●●●同樣なる朗讀演說あり是れに對し質問を爲す可く

▼杉田定一氏 登壇、外相の演說に據れば西伯利亞の出兵は何時如何なる動機にて行ふや測られずとの事なるが傳ふる處に據れば政府は聯合與國に對し出兵の發言を爲したりと聞く若し萬一發言を爲さゞるにせよ探りを入れたる事なきや果して斯かる事あらば宜しく自決する決心にて事に當らざる可らず如斯重大問題に對しては國民の意嚮を尊重せざる可らず獨逸東漸の噂にして事實ならば日本は是れに對し如何なる方策を講ずるや

▼本野外相 出兵に就ては今言明の限りに非ず其の時期に就ては愼重考慮を要す可し露國一般人民は日本に對し何等惡感情を有し敵對行動に出づる事無きを言明す、米國が露國の鐵道を調查しつゝあるは事實なるが這は露國より依賴されたるものなり西伯利亞邦人の保護に就きては刻々形勢の變に應じ遺憾なきを期す可し

▼海江田準一郎氏 獨逸が印度方面に如何なる活動を爲し居るや承り度し右に對し本野外相是れに就きては遺憾乍ら答辯する能はず

▼若槻禮次郎氏 政府は西伯利亞出兵に就ては發言も發案も爲せる事なしと謂へるも外電に據れば日本の提議云々とあり

▼本野外相 外國新聞に日本の提議を揭載しあるも日本政府は斯かる事實無きを明言す誤解なからん事を望む次ぎに

▼寺內首相 は議會終了に就ての挨拶を爲し夫れより議題に入り四件採擇同二時四十分散會を宣し茲に貴族院は議事を終了

衆議院（廿六日）

＝朝刊より續く＝稲瀬延着＝

▼尾崎行雄氏（憲政）登壇 露國を敵とせざることの至當なるは何人も異議なき所にして此の際は今日以前に於て爲し得べきものたるに猶ほ今日迄之れを遲延せるは此間何等かの事情伏在せるにあらざるなきか露國を敵と爲さずと言ふのみにては論旨不徹底なり獨講和の成立せる今日露國に援助を與ふるは間接に獨逸を援助するの嫌ひなき能はず對露政策に就て確たる方針を聲明するの要あるべし次ぎに帝國政府は這次の大戰亂に參加せる以上は如何なる抱負を有せるや當に東洋の治安を保全する以外に實力に於て精神的に時局に處する大經綸を如何に發露すべきや帝國政府の聯合與國に對する態度甚だ鮮明を缺げるは意思の疏通を缺げるに非らざるか現政府の行動は他面獨逸と默を通じ居れるが如く見做さるゝ事なき能はずと論及するや議場騷然として尾崎氏を非國民と罵る者あり大岡議長は尾崎氏に警告を與へ更に尾崎氏は質問を繼續し露國內亂に對する帝國の態度を說き遂に支那不干涉論に及び又も議場騷然たるも尾崎氏頓着なく聯合總會に述べたる張作霖氏の兵器掠奪問題を論じたるに大岡議長は再三外相の演說外に論及すべからず注意すべし」と警告を與へ最後に尾崎氏は誠意ある政府の答辯を望むと結び降壇するや之に對し

▼本野外相 露國と永久に親密なる關係を持續したき希望は既に今期議會當初に於て聲明したる事なるも現狀に鑑み更に反覆宣明したるのみ露國を援助するの時機に就ては目下考慮中なり次ぎに出兵問題に就き聯合與國と意見の交換を爲したるは事實なるも今日之れが內容を發表するの時機に非らずと認む最後に尾崎氏は帝國が恰も獨逸と聯絡ある如く論せられたるが帝國は聯合與國と表裏共に提携しつゝあるは中外に明白にして獨逸と何等の交涉なきを茲に斷言するものなり尾崎氏の言論は時々新聞紙上に見るも其の認斷甚しく失當なるものあるを惜むものなり彼の前內閣時代袁世凱帝政延期勸告の結果は如何なりしや尾崎氏の論旨に迎合し了りて降壇す

▼望月小太郎氏（憲政）登壇、西伯利出兵問題に關し政府は非公式に聯合與國と意見の交換をなせりと言ふも之れが動機は自發的か將た服從的か明瞭に表示されん事を望む卽ち獨力東漸の危急に備へん爲めか或は露國內亂急を告げ其の救濟の爲め我が帝國の出兵の必要を痛切に感じたるに非らざるなきか從つて我が出兵提議が自發なりしを揣摩するに足る而して聯合與國と意見の一致を見ざりし場合政府は如何の態度を執るべき決心なりや

▼本野外相 は望月氏の意見は了承するも質問の箇條は既に尾崎氏に對する答辯中に盡されて居るものと信じ此上多言を要せずと答へ直ちに日程に入り

共通法案委員長政尾藤吉氏（政友）より委員會は附帶條件を附し貴族院送附通り全會一致原案を可決せりと述べ右報告通り可決確定正午休憩

午後一時開議日程を變更し委員長代理瀧正雄氏（政友）報告通り

勞働保險法制定に關する建議案 可決確定

帝國美術館建設建議案 委員長倉杉英五郎氏（清和）報告通り可決確定

市町村其他公共團體に煙草元賣捌事務委任に關する建議案 外二件一括して議題に供し委員長秦豐助氏（政友）報告通り希望條件附にて修正案可決

支那人敎育の施設に關する建議案 外一件委員長頭本元貞氏（政友）報告通り修正可決

信越線碓氷鐵道改良に關する建議案 委員長工藤善助氏（政友）委員會の經過を報告し可決

七尾鳥山間鐵道敷設並に便線敷設に關する建議案 委員長丸山嵯峨一郎氏（政友）報告可決

次に請願七八件委員長龜井三郞氏（政友）報告通り順次採擇に決定此時寺內首相以下各大臣出席寺內首相より別項の挨拶あり次いで大岡議長より同じく別項の挨拶ありたる後寺田書記官長の本期議會成績報告あり三時八分散會せり

▲首相挨拶

廿六日午後貴衆兩院に於ける寺內首相の挨拶左の如し

諸君第四十回帝國議會の將に終を告げんとするに當り茲に重ねて所思を披瀝するを得るは本大臣の光榮とする處なり、政府は時局の重大なるに顧み國防の充實其他緊切急要なりと認めたる豫算及び法律案を提出せるに諸君は愼重審議の結果重要なる諸案に對し速かに協贊を與へられたり、此事たるや一に諸君が國家の將來を念とせらるゝ愛國的赤心の發露に外ならざるものと信じ、茲に深厚なる敬意を表す、將來戰局の推移は今より豫言し難しと雖も露獨單獨講和の結果獨逸の勢力は漸次極東に波及し東洋の平和を紊さんとするの虞れあり政府は萬一帝國の安危利害に係り又は聯合國の共同利益を保護するの必要ある場合に臨みて斷乎たる機宜の處置を執る決心なり、諸君凡そ國難に處するに當りて報國の至誠を致すは我國民固有の美性にして內外に對し私かに誇りとする處なり今や時局愈々重大ならんとするの秋に當り茲に政府の意嚮を表明し國民の自覺を促すの必要ありと認む終りに臨み諸君の連日の御盡瘁を謝し同時に時局の進展如何に依りては重ねて近く諸君の來會を煩はす事なきを保せず此の一事は豫め諸君の念頭に置かれん事を希望す

▲大岡議長挨拶

第四十議會は本日を以て終了す、本會議は第十三回總選擧後第一の通常會にして世界の變局に際し頗る重要なる案件を議定す可き會期なりし本會期中本會議を開きたる事二十八回、分科會、委員會を開きたる事四百九十八回、議案、質問の提出せられたるもの六百六十三件、概ね是れを議了せり今其主なるものを揭ぐれば豫算に於て特別會計を除き八億四千八百餘萬圓、臨時軍事費に於て五千八百萬圓、何れも協贊を與へ、法案に於ては稅制整理に關する廢減稅案は時期に於て政府と其見を異にし成立を見るに至らざりしも國防計畫に伴ふ增稅案は悉く是れに協贊を與へ、特に、戰時利得稅の如き工業動員法の如き時局に適切なるものは是れを可決すると同時に一面地方農務の輕減を圖り且つ敎員の優遇を爲さん爲め市町村義務敎育費國庫負擔法を可決し又物價調節の必要を認め政府に建議し且つ警告したり其他大正三、四年度の決算及び各種の承諾案を審議し是れを是認し若くは承諾を與へたり斯の如き成績を收め得たる多數の請願も亦悉く是れを議了したるは畢竟諸君數月間勵精の結果に外ならず終りに臨み本會期中は諸君の注意に依り殆んど議場の波瀾を見ざりしは近年稀なる處にして憲政の一進步なりと信ず茲に諸君連日の勞苦を謝す

◉鮮銀改正法案通過

朝鮮銀行法中改正法律案は二十六日貴族院本會議を通過可決確定となりたる旨同夜鮮銀に入電ありしが其の內容は屢報の如く保證準備發行限度三千萬圓を五千萬圓に、副總裁の件、信託業務の開始並に副總裁の新設にあり改正法案の全文左の如し

朝鮮銀行法中改正法律案

朝鮮銀行法中左の通改正す

第七條中『總裁』を『總裁副總裁各一名』に改む（重役定員の件）

第八條第三項中『理事』を『副總裁及び理事』に、同條第二項を左の如く改む

副總裁は總裁事故あるとき其職務を代理し總裁闕員のとき其職務を行ふ

第九條中『總裁』を『總裁及び副總裁』に改む（政府の任命權に關する件）

第十條中『總裁及び理事』を『總裁、副總裁及び理事』に改む（重役が他の業務を營む事に關する件）

第十七條第一項に左の一號を加ふ

八、信託の業務

第二十二條中『三千萬圓』を『五千萬圓』に改む（保證準備發行限度の件）

第三十八條中『代理する理事』を『代理する副總裁』に、『理事の分擔業務に係るときは理事』を『副總裁又は理事の分擔業務に係るときは副總裁又は理事』に改む

第三十九條中『理事』を『副總裁』に改む

第四十條中『總裁又は理事』を『總裁、副總裁又は理事』に改む

▲大田理事談

右に付大田鮮銀理事を訪ひたるに理事は曰く改正法案通過の電報には接したが別に之れと云つて申すべき感想もない、唯銀行の業務範圍が擴くなり又經營活動力の增大を來したと思ふ位だ、改正法律案の施行期はまだ公の通知に接しないので分らないが法律改正に伴ない銀行としては定款改正附議の臨時總會を開かねばならぬ、それは多分來月の中旬となるであらうか又改正案の實施とともに副總裁も出來るやうになつたがそれは政府の任命で豫輩は如何なる人が見ゆるか又何人が就任するか與り知られぬけれどその任命も改正法律案實施後の事だらうから急に副總裁を迎ふる譯でもあるまい

◉西伯利線開通

障碍を來しゐたるチタ、滿洲里間列車は運轉差支なき事となり普通各列車はイルクックより月、水、曜日滿洲里著又滿洲里より火、木、土曜日イルクック著により運轉すべく尙每木曜日浦鹽發急行列車は滿洲里に於て乘換へ無くイルクックに直行することゝなりイルクック以西は相當列車ある模樣たるも目下判明せざる旨哈爾賓滿鐵公所より京管局に入電ありたり

◉朝郵新航路 鎭南浦大連線

朝鮮郵船會社にては來る三月末日限り大阪商船會社經營の長崎大連線（朝鮮經由）を廢航し南浦大連の貿易杜絕の虞あり南浦より切に大連へ新航開始の要望出で來るを以て四月より南浦大連間自由航路を開始する事に略決定し居れるが其の發著は南浦發初航四月五日十一日十七日二十三日にして大連發七日十三日十九日二十五日なり尙ほ運賃は從來大阪商船會社の執り來れる率によるものの如く穀類百石六十五圓にして船客賃金は三等五圓二等九圓一等十三圓となるべく就航船は仁川南浦線に就航せし宗信丸（二〇〇噸）を以て充當する由

○閉院式舉行

第四十回帝國議會の會期は二十六日を以て滿了に就き二十七日午前十一時貴族院に於いて帝國議會閉院式を舉行す可き旨仰せ出されたり右に就き寺內首相は勅命を奉じ閉院式の勅語を捧讀する筈なり（東京特電稲瀬延着）

◉橫斷航路滿船

朝鮮郵船會社の日本海橫斷定期航路は四月一日淸津出帆城津を經て三日夜元山發敦賀に向ふ事となり就航船は平壤丸と決定し居れるが其の初航の積荷は淸津城津元山各港より申込續到既に槪ね滿船となり居れり而して其の主なるものは穀類二千叺生牛百五十頭並に材木等なり又乘客も元山方面より敦賀の觀光に向ふ者少なからざる見込みなりと尙ほ初航には遞信局海事課監理係主任成田勝虎並に朝郵船營業課長松崎時勉の兩氏試乘のため二十六日京城發淸津に向ひたる由

◉英電信系の拘束

英國の電信系ては特殊の場合の外受附後七日を經過したる電報に對し一切の請求に應せざる事となりたる旨當局に通知ありたり

◉電氣博と支那代表者

東京に於て電氣博覽會開催の事は既報の如くなるが今回支那側より之が見學及び視察代表者として赴くべき者は支那鐵道より京漢鐵道局長水約俊氏、交通部鐵道課長龍擧賢氏及び京奉鐵道電務監督英桂榮の三氏なるが二十五日北京出發內地に向へたりと

◉土木建築業組合

朝鮮土木建築業組合創立總會は二十四日午後一時より京城ホテルに於て開會出席者五十四名諸般の協議役員選擧等を行ひ午後六時散會せり尙現在の會員は百四十三名にて事務所を長谷川町元工友俱樂部跡に置くこととせるが役員の氏名如左

▲組合長松本勝太郞▲副組合長田中半四郞後藤虎雄▲相談役小谷將、大賀龜吉、河中行興、中村與資平、岡專一、小森庸吉、新井初太郞、阿川重郞、高野省三、志岐信太郞▲評議員三十七名、特別委員十七名

◉松永道長官出張

松永京畿道長官は神尾李の兩書記を隨へ二十八日加平郡廳に於て舉行すべき製紙品評會賞狀授與式臨席を兼ね同郡管內郡事務狀況視察の爲め同日朝京城發 出張二十九日午後歸任の筈なり

◉關屋局長歸任期

平安南道に出張中なる關屋學務局長は二十九日歸任の筈なり

◉久保局長東上

久保滿鐵京管局長は二十七日午前八時四十分南大門驛發列車にて日支聯絡會議列席のため東上せり

◉三島理事歸京

三島鮮銀理事は久しく東上中の所二十七日午後九時南大門驛着列車にて歸任すべし

◉田中課長東上

總督府山林課長田中神三氏は二十六日附を以て農商務省山林會議出席の爲め東京神戶福岡に出張を命ぜられたるが四月一日出發往復二十日の豫定なりと

人事消息

▲津田秀雄氏（三井物產羅州支店長）二十六日夜入京人見鐵道局長邸に入る

▲岡今朝雄氏（土木長）道路及港灣工事視察の爲二十六日附を以て平南北大邱及釜山に出張を命ぜらる

▲片上天弦氏（早稻田大學敎授）二十六日夜橫井夫人及令嬢同伴入京

▲今村邦興氏（京畿道永登浦）新たに全南より京畿道に轉任二十七日郡衙府を訪問し着任の挨拶を爲せり

▲馬詰次男氏（東亞煙草販賣所長）廿七日夜元山へ向け出發

九州要地歷訪（九）

別府生

◇戶畑の躍進

◆戶畑町が第二の八幡市たる事は近き將來と存じ候、何となれば資本金四千萬圓を以て將來一百萬噸の製鐵を行なひ得べき計畫を樹てたる東洋製鐵所の敷地は既に戶畑に確定し、近く其第一期に屬する建設工事を開始すべしと云ば也

◆東洋製鐵所の敷地に就ては一昨年來九州各地間の大問題たりき、然も石炭を得るに近く、水陸交通の便を具へし現八幡製鐵所附近は各種の點に於て優に伊萬里長崎香椎大分方面を凌駕し居れるや論なき也、其の久原製鐵所の敷地として決定したる郊外約七十萬坪の地域が東鐵の敷地に變じ而して久原製鐵所の計畫は東洋製鐵所に併合する事となりたる結果は、戶畑町民にとり鯛を待望して反つて鯛を獲し感有之しなるべしと存じ候

◆東洋製鐵所の設立は茫漠たる戶畑郊外の林野を化せしむべく、名古屋崎附近の高松碧波合計七萬餘坪の埋立により戶畑は忽ち工場櫛比の殷賑區と變ぜんとしつゝあるに付戶畑町民の意氣は頗みに昂り居り對岸の若松市もために少なからず其の威勢に壓倒せらるゝやの觀も有之候

◆聞く所によれば戶畑町民は東洋製鐵所計畫の完成を十年後と見積り其の期に大戶畑市の出現を豫想して、昨年既に市街大體案を編成し終りたりとの事に候、右に依れば戶畑全町に包括し得べき最大限を戶數三萬人口十二萬と見て之れを標準とし各種施設を目論見たるもの丶如く、其の市街は矩形式に則りて四方に道路の幹線を設け以て其の繁榮を普遍的ならしむる用意に出で、官廳の位置、敎育娛樂其他の施設を適當に巧妙に按排しあり、幾年かの後之れが實現を見るに至らば、洞海灣口、若松市と相並び堂々の都市を出現すべしと存じ候

◆戶畑に於ける既設事業は三菱系統の旭硝子及び三菱コークス等最も好成績なりと稱せられつゝあり候、殊に旭ガラスの如きは世界的硝子の產地白耳義の獨逸に占領されて以來、各方面よりの需要續到、工場設備の如きは擴張に亞ぐに擴張を以てしても猶ほ應じ切れざるの盛況にあり、其他明治紡績、東洋並に日本の兩耐火煉瓦製造、明治製糖、戶畑鑄物の如き其々戰亂以來何れも相當の好成績を收めつゝありとの事に候

◆唯新事業方面は戶畑町の膨脹すべき地域全部新製鐵所のため占據されし關係上、大里小倉と同じく、工場敷地を見出す能はず最近何等見るべきものなし、然も東鐵を迎へたる戶畑に、猶ほ新事業の出現を探索する如きは探索する者の無理なるべきかとも思はれ候

本紙定價 廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 印刷人 小川三之助

[時刻表 illegible] 十一月一日現行

◆浦鹽の銀座通り　スエンツランスカヤ街　―クンスト、アルベルス商會及びランゲリツ商會前の雜沓―

春光融々たる浦港
―市中は大變な人通り
然し商買は上つたり
◇爲替が停止で◇ ◇取引が出來ぬ◇
朝鮮から六七萬の米が輸出して居るが
◇目下我對露貿易は一頓坐◇
浦港にて　西村特派員

百聞は一見に若かず今にも流血の慘を見るが如く傳へられた浦鹽も實際に訪ねて見れば豫想外に平穩で今更の如く噂の過大に驚かされるがソレでは

▽不穩めいた 事實は曾て無しもなかつたかと云ふと必らずしも然うではない、一時は非常に緊張した場面を見せ過激派の出據で何れ一波瀾起りさうであつたが雨降つた地固まる、其後は以前の平靜に復し爾來大した不穩もなければ大した危險もない、人にも地にも

図春光融々春の 風和かに行人の面吹く、聞けば浦鹽は近年にない暖かさとやら幾分其所爲でもあらうが市中は大變な人通り殊に浦鹽の銀座街とも云ふべきスエンツランスカヤ街などは人馬の

▽往來織るが 如く寧ろ目の著しい程の雜沓である、噂に違はず若し浦鹽に不穩の空氣が漲て居たら香氣に外出も出來ぬ譯だが事實は何よりも有力な證據である斯く人通りの多いところから考へても昨今の浦鹽が如何に平穩であるかが判らう、浦鹽の行政は今穩和派を中心とする市役所と元州知事廳の跡に陣取つた勞兵會と二つの系統に分れて居るけれど總ての機關は矢張り

図平生もの通り 活動して居るし平生もの通り汽車も駛れば電車も動く、商店は勞兵會が無法な要求をした時一時同盟休業を敢行した事はあるがそれも僅かに四日間今では又平日の如く開店して居る、勞兵會の稅關、エグリセリド埠頭の占領や、陸戰隊の上陸說などは噓の皮である、目下浦鹽には三井物產、三菱、大倉組、久原、大阪商船の出張所、協信洋行、鈴木外大小數十の店があり

▽三千五百許 りの邦人が在留して居るがコンな譯で却々引き揚げるどころではない、何れも首を長くして景氣の回復を待つて居る、唯だ一般貿易商は銀行が其支拂を一週五百留に制限して居るのと爲替の停止とにより取引が出來ぬので弱つて居る、時に原始的狀態に立ち返つて物々交換の方法を採る事もあるがこれは決して穩つたものではない、從來

図敦賀から輸入 する雜貨宵物類は夥だしい數量で朝鮮からは年々六七萬石の米(軍需米は別)を輸入して居たが昨今では取引が出來ぬから輸入しない折角輸入しても金にならぬから積戻すと云ふ有樣、現に三井物產などは朝鮮郵船の平安丸で巨額の過燐酸を積み戻したやうな始末で我對露貿易は茲に一頓挫を來して居る

◎米國軍艦 獨自動艇を拿捕す
太平洋を荒してゐた

米國軍艦は獨逸人によりて操縱されたる長さ六十呎の自動艇を太平洋岸の某港に拉し來れり同艇は太平洋にて掠奪に從事したるものにて如何なる商船をも沈沒せしめ得る裝置をなせり(華盛頓電報)

◎大倉發信氏收監
福岡未決監に

取調中の東京大倉組取締役大倉發信氏は廿五日夜福岡監獄未決監に收監さる(大阪特電)

◎遭難滿鐵社員 加藤氏葬儀
◇共に遭難したる碧海學士頭部に繃帶し棺側に

山東に於て遭難したる滿鐵地質會員加藤直三氏の葬儀は廿六日午後四時より佛式に依り執行せられ國澤理事長以下の弔辭あり會葬者二千莊嚴を極め棺側には未亡人いう子及び加藤氏と共に遭難したる碧海理學士が頭部に繃帶したる儘にて葬儀に列したるは會葬者をして轉た凄慘の狀を想はしめたり(大連特電)

◎慈善病院
―を中流の人々の爲に建つ―
山口氏の美擧

三十四銀行重役にして洋反物商なる多額納稅者たる山口玄洞氏は中流月給取階級の爲めに五十萬圓を寄附して慈善病院を建設する事となれり(大阪特電)

◎露貨成金
―濫發を中止したので米國人が買占る―
◇米國鐵道隊の使命は北方鐵山踏査の爲だとの噂

いつぞやの平壤通信に『乞食成金』といふのがあつたが近頃の滿洲では『ルーブル成金』といふのが出來たといふのは例の

◇露貨 が近頃めき〳〵暴騰したので今まで底値知らずの安い時に度胸試しに露國紙幣を買込んだ連中が澤山ある、殊に驚くのは何時手を廻したものか日本

◇內地 にも大分露國紙幣を持つてゐる者があつて其邊の筋からも近來露國紙幣を滿洲へ逆輸出してゐるとの評判もある、何しろ露國では獨逸との單獨講和が成立して今後軍事費を支出する必要がなくなつたので從來の如く紙幣を

◇濫發 する事を中止したのでさしもに低落した露國紙幣ももうドン底に達したといふ見極めがついたから奉天邊りを中心として某々

◇米國 人が盛んに買占を行つてゐるとの說もある、それに又た米國鐵道隊の派遣は其實北方の鐵山を踏査する下準備であるとか噂され旁々露國紙幣は騰貴の一方である(長春)

◎申込を滿たす能はざる卒業生
工業專門校卒業式
◎傳習所生も就職決定

京城工業專門學校に於ては二十七日午前十時より第一回卒業式を擧行し併せて附屬工業傳習所第十回卒業式を擧行せり長谷川總督は高橋武官以下を隨へ

◇式場に 臨み別項の如き告辭を爲し朝鮮銀行理事大田三郎氏式辭を述べ豊永校長證書並に賞品を授與し卒業生總代の答辭あり

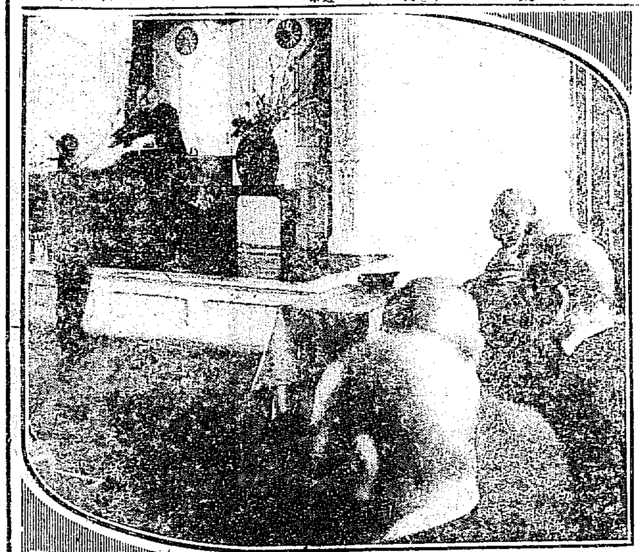
◎工業專門の優等生 京城工業專門學校第一回卒業生最優等の日詰忠三君(君は愛媛縣人で京城中學校の卒業生であるが將來學校の教授にするつもりで學校に置く事になつてゐるが學力は御覽の通りの好成績で然も人間が第一流いと受持の先生は語つて居た)

◎卒業生 は染織科五名、窯業科四名、應用化學科九名、計十八名にて就職先は全部決定し殊に近年朝鮮事業界の勃興に伴ひ申込先多く全部の需用を滿たす能はざるの好況なり

◎傳習所 は四十七名にて大部分就職先決定せり當日來賓は長谷川總督を始め松永京畿道長官高橋陸軍少將、大田鮮銀理事、鮮人側にては權重顯子、金春熙男、呂圭亨氏、劉猛氏其他四十餘名及び父兄多數にて來賓には同校生徒製作品を分配せり

◎大阪鐵工係長取調

大阪鐵工所調度掛長西野則久氏は廿六日夜大阪地方裁判所に召喚取調を受けたり(大阪特電)


◇工業專門學校卒業式◇

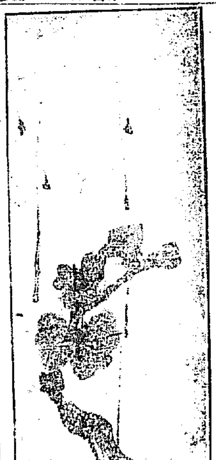
◎生活難の爲二兒を負ひて
齋藤灣に入水

二十五日午後十二時頃鎮海松葉町三島幸平(四十)妻ときそ(三)はよし子(七)清(二)を背負ひて齋藤灣に入水せるがときそは救助されしも二兒は死亡せり原因は生活難の爲めなりと云ふ(馬山特電)

◎汽車の金具を夥しく竊取
汽鑵庫工夫の惡事

靜岡縣駿東郡沼津町生れ龍山榮町居住鐵道汽鑵車組立工夫穗坂理三郎(三)は昨年春頃より最近迄に工場にて就業修了後歸宅する際に汽鑵付け或は其の他工事用の金具類、眞鍮器具、鉛塊等を前後三十八回に約四百圓許り自宅に持ち歸りて隱匿し置き高陽郡龍江面倉前里居住古物商高興文(三)に情を明かして賣却したることを本町警察署の刑事が探知して兩名を逮捕し取調べの上檢事局送り

◎花信
―伊豆の梅花一輪―



京城ではまだ漣翹さへ咲き出でないのに有繋に內地は今梅の花盛りと見ゑて各所から花便りの傳へられる中に最近伊豆函南村なる蓬德寺に在る堀內水將軍から無佛社長へ來信の書中に『鶯に醒めて手折りし一枝を君に贈りて春や知らせん』と記した傍に同寺の庭に咲き出でた梅の一枝を押花にしてそれに薄墨で幹を描き更に一點を添へて『是正に鶯也』と註釋がついてゐる▲押花を利用して軸にしたのは風流な思附だがこんなのが本當の花信といふべきだらう▲花信といへば野田大塊翁から同じく無佛居士への近信に『高麗の政勇江戶に時めく梅が香よ 大塊』と俳句つゞに次いで『京城の花は都に咲き初めて』と記したのは逸名氏、其隣の方に『其後御機嫌如何、今日野田樣にお目にかゝりました政勇事梅香』と記したのがあつた▲梅香とは昨年の秋頃まで京城の晉羽家にゐた政勇の事で今東京に出てゐるのだらう、これも花信の一つだらう

◎朝鮮牛耳洞の盃買

◆◆藤つゝじ 咲く天下の奇勝擬付山[illegible]れ誰の手の合方で變化に富んだ振などあるが前は手拭の持物場面は

◆◆わか子其次は箱崎八幡宮社前の勝景踊子は古式の神饌器と白羽の矢を持ち後に舟唄の合方となり山村はる子振付の流暢洒落なる

◆◆素手の舞 此處に鼓唄あつて京城南大門の大道具踊子の持つ鶏の籠の太鼓で花柳壽輔、同德太郎等苦心の輕妙な舞に賑めかせ次も同じ

◆◆朝鮮牛耳洞の盃買 で振付も前に同じく有名な櫻の名所踊子は朝鮮の銀の簪鮮服飾を付けた櫻の花房を持ち花見囃子の合方で派手を極めた舞振の賑かに打出しさなる(大阪)

◎犬小屋火事

二十六日午後十一時十八分頃京城黃金町百四十八番地吉川村木店の犬小屋より發火當備消防隊出動し即時消止む

◎大阪の踊に朝鮮の名所
◎花の四月大阪に開催の

―芦邊踊―

◇南大門◇牛耳洞◇

四月一日より二十一日迄大阪南地演舞場で催ほさる芦邊踊は『西遊記』で場面は最初が本年の干支に因む手綱染の縫帳踊子三十二名

◆◆手綱模樣 の團扇で踊り次は獅子の猿で動題の心持十六名の踊子が松露節を手にして山村わか子振付の優婉にして艶い手振りを見せ之が變ると瀬路白雲城を正面に望ませ周圍の諸には

◆◆紅白の蓮 の花開踊子十六名赤團扇で世話に碎けた音頭節の面白味ある振は山村はる子の苦心讃で嚴島は紅葉の秋宋の細廊で數千の燈籠大蠻妻をも遙かに眺めて十六名

◆◆紅葉の持 枝、花柳勝太郎振特の輕快洒脫な振があり居店かはりて稲布刈神社になると此の社の傳說に因み五色の總付の鎌と炬火を持た踊子十六名祈祷降る雪の合方に

◆◆しんみり した振を見せ後に瑠璃の內で古式神事に因む涼新與猫の舞あり次は耶馬溪で中途から仙人の岩洞より踊子が現はれ

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▲俗謠題『春の水』

○春の水から生れたやうな白帆三つ四つ五つ六つ(一等)　仰成町　角　醫坊

▲花も浮かべる浮石も流かす醉も狂はす春の水　京城　翠　[illegible]

▲咲耶姫から櫻の里に投げた文やら春の川　京城　村雨夜之助

▲芽ぐます情けの雨の滴りや浮草育む水　仁川　矢谷　花翁

▲草や木までもそゝ立つ心誘ふ浮氣な春の水　全州　多佳山人

▲桃色づきや氷も解けて流す浮名じや春の水　本町　朗　醫坊

▲花の雨垢滴たり落ちて流れ樂しや春の水　忠南洪城　中畑　一水

◎募集規程

▲用紙は端書又は同形の川紙一枚毎に雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

大[illegible]は

商況

東京期米特電
二十六日後場　一番　二十六圓六十六錢　二番

兵庫期米
二十七日前場　寄付　二十六圓四十二錢　二番　三番

大阪株式特電
銘柄	二十六日後場	前場
大阪川北	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
大阪紡績	[illegible]	[illegible]
尼崎紡績	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
大日本紡績	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
日本石油	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電
[illegible]

大阪期米特電
限月	廿七日前場寄付
三月限	三六、五〇
四月限	三六、〇〇
五月限	三七、〇〇
六月限	三七、六〇
七月限	三七、九〇
八月限	三八、[illegible]

中限寄付　二六、八八　先限寄付　二六、四八

下關期米時電
二十六日前場　兩各地安に賣叩く
寄付　二五、八九　[illegible]
中値　[illegible]
安値　[illegible]
止め　[illegible]

雜報

◎三品更に安し
一圓二十五錢も不勢に陷る

前日來強保合を持續し來れる三品も一圓二十五錢方の下押を見るに至り諸綿布も三銘十一圓二十五錢を割れり[illegible]

◎正米保合
勢を移し[illegible]

◎石炭酸の前途
烈に行はれ兎に角買附猛

[illegible]

◎大曲折を免れざるべし

◎午皮は混沌
前途は多

[illegible]

◎染料の其後

[illegible]

◎北海澱粉氣配

[illegible]

◎荳性曹達強保合
又復奔騰相場

[illegible]

下關相場

◎朝鮮白米も強硬 既報の如く分目下の相場は[illegible]

◎青豆豌不味

[illegible]

各地商況

◎群山正米（二十五日）
[illegible]

◎大邱（二十六日）
[illegible]

南大門の週穀
平澤玄米　二一七叺　水原玄米　二六叺　平澤白米　三九叺　水原糯　六八叺　牧山玄米　二七叺　南浦玄米　七叺　南浦大麥　三〇叺　新義州粟　二八叺　仁川白米　二九叺

仁川正米
▲穀の入荷步々あり氣配は別段變らず
▲正米は別段買いへば高く賣れば附ロ安
[illegible]

釜山穀物（廿六日）
[illegible]

仁川期米
二十七日前場（保合）
▲第一節　各地電報未着にて當地先二十一圓七十七錢と四錢高に寄付
[illegible]
▲第四節　雲天　二十六圓四十錢大阪天候
[illegible]

市場雜觀
▲二十七日前場　當限出來不申
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
仲買店
電話長三六七三六九（サ）又（十一）

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町
仲買店
電話二六〇二番

田
朝鮮米穀、米豆取引所仲買人
仁川米豆取引所仲買人
田中金兵衛商店
仁川海岸町
電話

仁川米豆取引所
二十七日の五月限
節	寄付	高値	安値	引
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

賣買取組高
二十六日後場 前日と比較
[illegible]

……と持合ひの成行きを示せり
後場當限出來不申
△中限二節二十二圓
△先限一節二十一圓九十六錢五錢

後場	
寄付	二十一圓九十六錢
止メ	二十一圓九十五錢
高値	二十一圓九十六錢
安値	二十一圓九十四錢

二十六日午前釜山入港新羅丸 [illegible]

◎セミヨノフ大尉で名高き
滿洲里の土產話（一）
◇大尉の下に中將や少將がゐる◇
日本の國旗を持ちたいといふ露西亞人

露支國境の滿洲里セミヨノフ大尉の名ある滿洲里此の話しは同居留民會長安生氏の奉天驛に於ける談話である

滿洲里は哈爾賓から汽車で卅時間餘かゝります、こんど私は十九日の朝滿洲里を立ちまして廿日午後二時哈爾賓に着きました、內田大使や高柳少將一行の御通りの節には滿洲里の居留民は皆停車場にお迎へしました、皆さんは

此處まで來るこ
◆ロシヤ日本に困つた樣だ◆

と申されました、滿洲里には只今日本人が二百卅名ばかり居ります露西亞人は以前二萬人ばかり居ましたが先達てから西伯利亞の過激派が來ると云ふので大分避難した人が多い樣です、此の月の朔日頃にもダウリヤ驛の方から過激派が押し寄せるといふ評判が大變なものでした、過激派は支那の守備隊に向つてセミヨノフ大尉を引き渡せと迫つて來ましたが支那の旅團長は返辭もせずに默して居ました、しかし先方には獨逸の俘虜が後押しして居るさうですから

今に滿洲里の街
◆は地獄になるとの風評◆

でした、しかし日本人は少しも騷ぎません、獨逸人が來たらお相手になつて上げようし假令ば殺されたつて却つてお國の爲めになるだらうつて一人も騷ぐ者はありませんでした、滿洲里街は後ろに小高い丘を負うて居りますが若し國境マチエフスカヤ方面から其の丘を占領せられたら一たまりもなくやられて了ひます、セミヨノフ大尉は只今カザックのアトマン（首領）で部下には露西亞の中將や少將がついて居ります、本部は私の家の隣家になつて居ますが兵隊には少年もあり蒙古人もあり種々な人が加はつて居ります、大尉はまだ三十歲前後の偉丈夫です

其の母は蒙古人
◆ださうで日本人の樣な◆

顏をしてゐます、可憐さうに今のまゝでは過激派に敗かされて了ひませう、滿洲里の支那兵は只今四五千人も居りませう、頃日は憎らしい程威張つて居ります、露西亞人は主に蒙古貿易の人達ですが皆な早く日本軍が來ればよいとそればかりを待ち構へて居ります、此の間もある露西亞人がどうか日本の國旗を樹てさせて呉れといつて日の丸の旗をヒラ〳〵させて居ました、それに西伯利亞の露西亞人までが

なぜ日本軍隊は
◆西伯利亞を占領しない◆

だらうつて不思議がつて居ます、內田大使も國境から西伯利亞へ行く鐵道は內田大使の通過された後は一切不通になるだらうとの事でしたが昨今チタまでの切符を賣つて居るとも聞きました、西伯利亞方面からは殆んど毎日のやうに露人が日本へ避難して行きます、先日も或る露國の飛行家が秘密で通過しましたその人はあちらで有名な大家だといふことでした、國境の日本人は皆元氣です、早く何とかなつて呉れゝばよいものですがね……（奉天）

◎施設行政獨立

滿鐵會社は主要の地方に地方事務所を設立して附屬地內に於ける教育衛生其他居住民に對する一般行政施設をなしつゝあり四平街の如きは公主嶺地方事務所管轄內に附屬せしめ來りしが市街の發展と對蒙古問題の上より打算して獨立せしめざる可らざる趨勢となり來る四月一日の年度更りより獨立せしむる事に決し主任として從來の首席田中孚二氏を居据わらしめ尙所員兩三名を增員せしむる事となるべしと云ふ

◎青森の有力家 平壤に大工場 起すべく新計劃
◆兩院議員團來鮮すべし◆
◇農民を移住せしめて開拓を行ふ◇

青森縣多額納稅者貴族院議員及び衆議院議員其他同縣有力者等は四月下旬西朝鮮視察の爲來壤すべく之れが爲め株式會社平安攻玉園三輪重役は二十二日東京に向へり聞く處に依れば青森縣は年來農產物の凶作に苦しみ農民は疲弊困憊の極に達し居れば此際農民多數を平壤附近に移住せしめんとする計畫ある由にて之れと共に青森縣に於ける資本家は平壤が朝鮮唯一の工業地なる事を聞き平壤を視察し其結果平壤に資本を投じて事業を起すべき準備の爲め前記視察團の來鮮を見る次第なりと

◎岐陽輕鐵延長

平南江西郡朝鮮無煙炭鑛會社は漸次西兎山里まで布設せられありし輕便鐵道を今春更に延長すべく企畫し技師中井工學士工事主任となり目下豫定地實測中なれば、近く工事に着手すべしと、猶ほ同會社に於ては岐陽驛附近に煉炭工場を設置中なりしが已に大部分竣成せるより四月上旬には機械の運轉開始の運びに至るべし

◎大豆六千餘叺

平安南道三月上旬大豆檢査は平壤一千四百五十叺、不合格二十六叺鎭南浦三百四十三叺、不合格十七叺、中和八百七十九叺、不合格十七叺、肅川一千二叺、不合格四十五叺、新安州二千六百二十六叺、不合格七百八十一叺、累計六千二百五十叺、不合格八百六十九叺なりと種類は主として成川產の川上大豆にして品質佳良なれば多く釜山方面に仕向けられつゝあるが近來包裝も漸次良好に向ひつゝありと

◎四平街と銀行

株式會社四平街銀行は今回營業認可の指令到着し二十二日より銀行一般の業務を開始せるが其開業披露宴を二十四日寬城ホテルにて盛大に行ひたり

◎京谷耐火煉瓦增資

平壤合資會社京谷商店は事業の盛況を來せる結果從來の資本金六萬圓の外更に中村精七郎氏四萬圓を出資し合計十萬圓となすものにて此の內譯は中村氏七萬圓、京谷氏三萬圓となるものにて目下許可の申請中なるが增資に伴ふ同工場の新設備は耐火煉瓦製造用として一日八千貫の原石粉碎機一基を增設し同時に窯三基をも增設する外更に赤煉瓦年額百萬個製出の窯一基を設置すべく目下工事を急ぎつゝありといへり

◎平南と桑

今春平安南道に於て植付くべき桑苗數は魯桑實生七百萬本にして共同購入は魯桑七十六萬四千五百三十本、赤木三萬一千八十本、島の內二千四百本、市平二千六百本、多胡二千四百五十本、白桑一千六百本、魯桑實生二十九萬七千八百三十本、有償配布は魯桑六十八萬八千百本の多數に上り全部四月の中旬までには栽植を終るべしと

◎花婿の父君が 態々京都で出迎ふ 電報に接吻して
◇アンナ夫人の嬉しき笑顏◇

日本興業銀行小野副總裁令息小野俊一氏の談は既記の如くであるが同息は五年前獨逸へ留學の目的で露國迄行くと戰亂勃發の爲めに止むなく露國に留まりペトログラード大學で動物學研究中今の夫人アンナ孃と戀仲となつたのである。さうして今度露都を引揚げて夫人同伴で大連まで來て見ると日本ではつい此間外國人の入國取締令が發布せられて政府の證明を所持したものでなければ入國する事が出來なくなつた此な事のあらうとは夢にも思はなかつた新郎新婦は頗る面喰つた元より過激派政府へ願出すべき筋でもなくヤマトホテルで薔薇色の額を二つ突き合せて相談の末二人が嬉しい婚姻の晩聖堂で取換はした宣誓書を大連露國領事館に提出して二人が正しい夫婦である事を證明して貰つて此程樂しい旅行を續けて內地に歸つた夫人とを出迎への爲め京都まで出て來ると云ふ電報を受取つてアンナ夫人はそれを頰擦りし我を忘れて悅んで居た

◇火災に遭へる水戶市の一部
（知事官舍は本寫眞の附近にあり）

◎娼妓誘拐者は 大變な曲者であつた
◆果られた長崎樓の娼妓 ◇もぐらされた上で前金を申付かる◆

去る二月二十四日平壤賑町遊廓長崎樓抱へ娼妓金丸こと岩本はる（二三）が筑前屋旅館に投宿中なりし大谷政一（三）と云ふ者と手に手を取つてドロンを極めたることは當時の本紙に報じしが大谷は長崎樓に於ても詐欺的行爲をなし其他にも犯罪ある見込みにて平壤署に於て各署に手配を依賴し置きたる處爰に去る六日新義州旭町谷川質店に大谷なつと云ふ名義にてセル地二反を拾圓にて入質したるものありたるを早くも新義州署の阪下刑事が不審と目星を付け搜査に着手せしに此奴は朝鮮銀行員と稱し某樓に登樓し豪遊を極めたるも金に窮し該反物を仲居に賴みて入質せし旨判明したるが尙取調べたる處朝鮮銀行員とは眞赤な僞りにて此男は目下安東縣松屋旅館に滯在中なる日本生命保險會社京城支店勸誘員にて豫て手配中の大谷なることを確めたれば新義州署の爲め取押へられ取調べたるに政一は德島縣生れにして豫て一年志願兵となり步兵四十三聯隊に入營し龍山某官衙に奉職更に轉々平安南道廳土木課に勤務したることあり目下保險勸誘員として過日も平壤に入込み既報の如き始末にて逃走し前記松屋旅館に滯在中同館前[illegible]屋吳服店に於いて絹織物五反價格百數十圓の品を騙取せる事遂に露見に及びたれば身柄は安東警察署の手に引渡したり尙此奴は金丸を安東に連行き指環衣類は勿論金入齒迄も捲き揚げ遊興費に當て又滿島すみ（二〇）と云ふ女を內緖の妻として居たりといふ因に岩本はるは數日前平壤より來りし樓主に引渡し歸樓せしが平壤署に召喚され科料五圓の即決を言渡され今更樓主の無情を喞ち居れりと

◎暫らくは鯖の天下
◆盛漁季に入らざる爲め◆

昨今釜山地方より平壤市場へ生鮮魚の入荷續々あり市價平均一尾二十四五錢を唱へ居れるが鮮魚拂底の折柄なれば賣行頗る良好なり而して一般の魚類は未だ漁期に入らざるため相場は依然高値を持續し前報と大差なき由

湖南の春　八島生
◆汽車を待たせて悠長な掛合◆
輕鐵線路の引帳凧
◇樂のどかなる旅路のいろ〳〵◇

○溫突の煙り靄の如く立罩めた朝の本社前を辿り拔けて南大門驛に驅付け八時四十分發釜山行列車に乘込み湖南線視察の途に上りしは二十日の事にて候、車中何の珍聞もなく午後十二時半大田驛に著し市中一巡の上大田發六時木浦行列車にて愈々湖南線各地の視察に取掛り申し候。此の豆鷄驛のプラットホームには此附近一帶より各地へ仕向けらるゝ米堆高く積まれ其傍らにて數人の鮮人何やら驛員と爭論するを見受け申候、此の爭論と申すはプラットの掛合にて而も列車を待たせて置いての掛合とは乘込車掌の談にて候其香氣さ加減到底御話になり申さず從つて汽車の定刻より遲るゝこと三十分乃至一時間は決して珍らしき事に非ずとは驚き入り申候。○論山、江景は例の五州鐵道の一線たる全州公州間豫定線の爭奪戰に花を咲かせ居り候、論山側にては該豫定線は最初より江景を經ず論山を通ずる事となり居るにも拘はらず中途より江景が飛び出して爭奪運動を開始せしものにて地の理より云ふも江景を通ずるは決して當を得たるものに非ずと云ひ江景側にては論山が中途より飛び出したるものにて江景は水陸の要衝に當り年々百餘萬圓の農產物及び水產物の集散を見るべき大市場にて且つ江景側の理想豫定線中には石城、扶餘、定山等大農產地も控へ居る事にて營利を目的とする鐵道會社の江景側主張を容るゝは決して疑ひなしと双方のメートル高きに達し居り候。

白山黑水

撫順驛は毎年冬になると豆と石炭でギウ〳〵云はせられるが昨今は大分豆の滯貨も片づいた△豆は毎日馬車で來るのが二百噸、汽車で積み出すのが六百噸四月中旬頃にはだいぶ落付くだらうとのこと△撫順と云へば同地の賴母子講は多過ぎて困りものらしい何とか整理しなければなるまいとは世話役の心配△こんど奉天交涉員を辭職する馬廷亮氏は以前京城の總領事で居た頃[illegible]帝廟に何か扁額なぞを書いてある△氏は廣東人で外國語も巧く奉天のみならず支那の外交官としても稀の利く方であるが△大正四年の共進會當時にも張督軍と一緒に京城に來て盛んに應酬振りを見せたものだつたがこんどは愈よやめるらしい△後釜は關海清といふ人張督軍の秘書役だがまだ貫目が足らぬらしい△段內閣は出現する岳州は北軍の手に入る南京もころげ込みさうで差詰め李純も追拂ふ計畫△昨今の張さんは玆許大當りのお芽出度さ奉天南征軍は愈々廿三日を落驛から繰り出して今では六個混成旅團も出たとは偉い

台所 その日〳〵
◇鯖のぬた◇

鯖の頭を除け三枚におろし腹骨をそぎ取り小骨を拔き皮をむき取ります其れを一寸位に切りましたら酒身に作り酢を少しふりかけて置きます葱の白い處を縱に細く割り一寸位に切り熱湯に入れ煮立つた湯に浸し苗で[illegible]ぬ樣に引き上げ苧を切つて冷します冷めましたらこれも酢を少々ふりかけます次ぎに味噌に砂糖を加へて味を見よく摺り酢にてのばし裏ごしをなし出來上りましたら鯖されぎへまず小皿に程よく盛りましたら其の上から燒き海苔をもみかけて出します

寄書……投書後一週間以內に到着の分は同樂を呈す△見通告者には五十錢甘味券を呈す△宛名は但何番何號と明記に限る△京城日報編輯局讀者文藝係

演藝案內

電話八七三 旭町 大正館
二十日より大喜劇提供 ひな鵜 全三卷
新派悲劇 鐵の爪 十五十六編 最終編
馬丁 治良吉 全四卷
ポッチャン孃樣は是非御覽 高田の馬場
小國民 五卷
新派 「龜甲組」四卷
電話二〇五九七 有樂館
明治町二丁目 電話二六◎番 浪花館
大竹本若千代一座
大阪娘 二の谷 一の谷 戀娘昔八丈 太功記 夕霧 古
二ヶ月に亘り多大の好評を博したる 鐵の爪も 終編 愈々今明日限り 見落しなく御早來願上候 大正館
電話二二六三七 二二六六 黃金館
チャップリンの爆彈投 全二卷
活劇 死の前 全三卷
新派喜劇
大劇 日蓮上人御一代記

京城本町 電話一〇五〇 壽館
京城 有樂館

元山 熱田商會製造 サクラジルシ 片栗粉
代理店 京城南大門驛前（電二一七〇）松原運送店
一手特約店 販賣 京城南米倉町（電話三五一番）池尻商店
同 町（電話七五番六四番）辻本商店
同 南大門通（電話一五〇七番）上田商店
同 南米倉町（電話二三七九番）柳井商店

東洋捕鯨株式會社特約販賣店 鯨問屋 京城府明治町二丁目 香月商店 振替口座京城四八四六番

本年春代價表進呈 山林用苗 果樹苗木 野菜種子 草花種子 花卉盆栽 農具肥料 朝鮮 平壤 內田百花園

京城 痔疾專門 入院隨意 京城明治町二丁目本町より入る中程（電話二一〇二番） 久枝肛門病院

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千貳百貳拾萬圓 總預金 貳億貳千六百萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 支配人 西村道彥 京城府本町二丁目（電話二一番 二三一七番）

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七 九二〇九番

大日本優等清酒 白鶴 品質純良 衛生無害 攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社 發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七 振替口座四二五

旅行用具一切 朝鮮特產 ワングル製鞄 專賣品 柳製鞄 毛布二枚續 三圓五十錢以上 東京製鞄各種 防水布 マント 各種 甕法瓶及中瓶 取替 鞄製造販賣 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

各博覽會名譽金賞牌受領 諸官署各地會社御用達 浪速式製繩機 製繩機は成績と信用は本邦第一 販賣店 大阪梅田新道西側 浪速商會 貸附

京城（壽座隣） 山田耳鼻咽喉科醫院 福田齒科醫院 電話二二七七番

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 賣捌所
十八金十七形 甲六十五圓 乙五十五圓
十八金十五形 金四十五圓
十八金十七形 金四十五圓
十四金側 金三十八圓

男の生殖器病 專賣特許 眞空療法研究所 東京神田お玉町五二三番

汽車時間

京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京釜連絡　京義線（北行）　同（南行）　釜山連絡　京仁線（仁川行）　京元線（北行）　同（南行）

[illegible]

塚原卜傳

第二十八席

悟道軒圓玉口演

佐太夫驚いて　佐『さういふ聲は照代ではないか、この夜更に何用あつて歸つて參つた』照『お父樣いろ〳〵仔細があつて夜更に參りました』小『イヤ其仔細は拙者から申上る拙者は御息女をお送り申して參つたもの決して怪しい者ではござらん』と云ひながら入つて來た小太郎、佐太夫何だか樣子は分りませんが若い武家の聲、之には何か仔細ある事と心得　佐『イヤ　コレは〳〵何れの御方かは存じませんが見苦しい處へお立越下され汗顏の至り、御覧の如く兩眼不自由の手前、失禮の段は御容し下され度く照代此方へ御案内いたすやうに……』照『サア貴方汚ない家でございますがどうぞ此方へ』小太郎一禮して上へあがり　小『決してお構ひ下さらんやう、エ、御老人には初めて拜顏いたすが拙者は常陸塚原の住人塚原小太郎と申す若輩、修業のため此度上洛をいたしましたものでござるが今晩御息女に不圖御逢ひ申し、御身上萬端承はり何とも御氣の毒の至りに存じ、爾後の御相談をも仕らんと存じ、推參いたしました、甚だ押付がましく御無禮の段は御容赦下さるやう願ひたい』佐太夫手を拱いて　佐『申後れましたが拙者は團江州佐々木の家來下屋佐太夫と申す者、武運拙なくいたして讒者の舌頭にかゝり主家を浪々いたし、其上業病に惱み、お恥かしき事ながら一人の娘を……』小『イヤ其れは最前御息女から承はりました、榮枯盛衰は時の運決して御恥辱ではござらん、さて實は今晩斯樣々々』と一伍一什の話をいたしましたから佐太夫は一度は愕き一度は喜び　佐『左樣な次第いでございましたか貴方がお通り下さらずば、娘は今頃水底の藻屑、外に頼りもない拙者の事でござるに依つて娘の跡をも追はねばならん處、我々のためには生命の大恩人、よくぞお救ひ下されました、お禮は言葉に盡されぬ』と見えぬ眼から泪を流して喜ぶ樣子、小太郎　小『何はともあれ今宵は娘御をお送り申して拙者も安堵、明日早速その若狹屋へ參つて懸合ひ御息女の身代金を返濟して綺麗薩張り埒を開けて參るに依つて御親子とも安心してお出なさるやうに……』佐『御親切なお言葉有難うございますが、初めて御目に懸りました貴子、莫大な金子を御用立下すつては何とも恐縮、千萬其れでは餘り……』小『イヤ決して心配なさるな、多分と申すも千金萬金といふ譯でもあるまい三百金や四百金の貯へはあるに依つて御心遣ひに及ばん、安心なすつて御用を十分になさい、御息女も之からは御老父に孝養をなさるやうに』照『ハイ何から何まで御親切に有難う存じます』小『御老父の前でござるが對手が岩成主税と聞いては拙者誠に勘辨ならん餘計な事のやうではござるが差出てお引受申したわけ當時三好三黨として其勢旭の如く、中にも岩成左通と申す奴上將軍を輕んじ下萬民を虐げ己れは酒色を擅まゝにして上見ぬ鷹の勢ひを揮ひ、古への平相國、高師直にも劣らぬ榮華を盡して居るとの事、今天下に隱れもなく拙者在國中から聞及んで居る、若し兎や角う岩成の方から申して參れば其時には亦拙者に考へがござるから萬事任せてお置き下さるやう』佐『忝けなうござる御恩のほどは生々世々忘却は仕りませぬ』小『デは明日改めてお伺ひ申す』佐『見苦しき處でお厭ひなくば今晩は御泊り下さる譯には參りますまいか』小『イヤ三條の山城屋方に逗留いたして居りますから定めて宿でも案じて居りませう御暇をいたし明日重ねて御意を得ます』と親子に別れて小太郎其儘立歸りましたが、翌日早朝木屋町の若狹屋へ訪ねて參りました。

院長 醫學士 森定吉
（芙蓉醫院改め）
森病院　內科 小兒科
入院隨意
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡
電話二六三三番

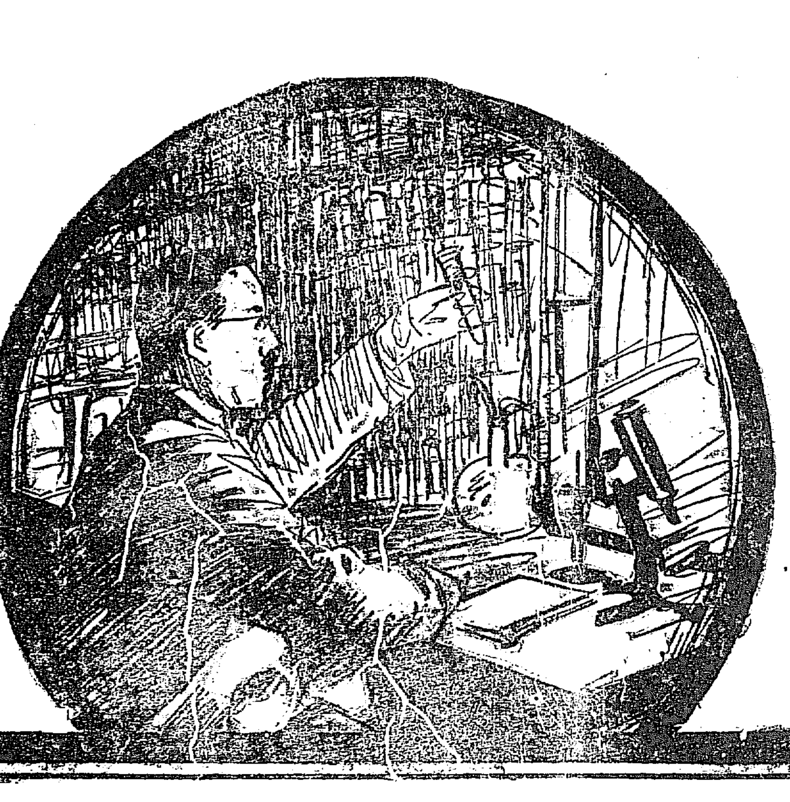
三月廿九日 九星
舊二月十七日 乙壬
本命六白乾戌赤口

▲六白● 悪しき事ごとも多き日新築見合南方は吉●[illegible]▲七赤● 大勝利の日轉居開業入學吉●[illegible]▲八白● 順利の日[illegible]▲九紫● 不自然の事有日新手掛[illegible]▲一白● [illegible]▲二黒● [illegible]▲三碧● [illegible]▲四緑● [illegible]▲五黄● [illegible]

外務員募集
一、身元證明書履歷書相添ヘ志願セラルヘシ
一、業務及報酬ハ委細通知ス
日本勸業銀行債券取扱
東京市京橋區北槇町貳番地
日本商事合資會社 證券部

商業登記

株式會社漢湖農工銀行ハ大正七年二月二十七日[illegible]ニ依リ本店所在地ヲ京城府南大門通二丁目百四十番地ノ一ト變更シ地番號ノ改定ニ依リ[illegible]支店ヲ同郡同面同里九十番地ト變更シタリ
大正七年三月二十三日登記
京城地方法院 開城支廳



品質に於て
一頭地を拔く
ライオン齒磨！
その信用は最も厚く、
その賣行は最も廣く、
その名聲は最も大なり。
吾人の信頼すべき、
愛用すべき齒磨は
唯これのみ！

(900-6)

織元多物織仕入投資の一策として小賣利より五割安二回販賣開始
桐生 縞 大市兵兒帶 武圓五拾錢
高尚堅牢の品にて會社員學生及紳士に適當綾式にして上品なり
大島銘仙 大中 小紋 一反 一六圓
現今非常に流行品良く高尚にして優美の品殊に染色保證實、粋の品
本場 縞銘仙 染色保證 五圓五十錢
實用的の品大中小の縞にして色合地味本場結城紬の如し
產地直賣 五割安
セル 大中染色地質保證 三圓八十錢
毛織物 小柄保證堅牢
羽織袴コート單衣インバネスに適當にして昨今非常の流行品なり
注文 年齢柄お好みで申込は引替
御費で送る萬一不向なれば交換又は返金もするから買物王つて安心
ハガキ
桐生織物 元 捌所

模範 御用 牛乳
ニッソ 洗石 消毒
京城蓬莱町四丁目
東亞牧場
電話五二二番

醇良無双清酒

衛生無害品質無双
發賣元
京城府黄金町二丁目
首藤京城支店
長電話一一七一番
釜山港幸町
首藤釜山支店
長電話三四三番

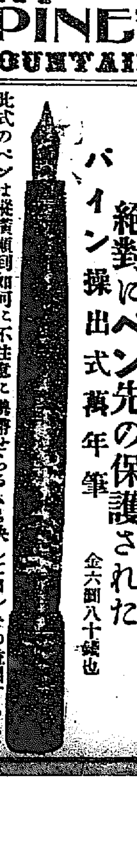
銚子港 田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店 賣捌元 正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替口座京城七五番

最新刊
[illegible]
最新和英辭典 特 一、三五
字句活用文章講義 特 二、〇〇
分析化學 [illegible] 二、五〇
大正名人錄 島内柏堂 二、五〇
口よせ術 双龍軒 一、二〇
英語精髓 佐々木邦 七五
視距測法附地形測量法 花岡米三郎 六〇
電池及充電機製作法附取扱法 大日本電氣研究所 一、三五
吉本富三郎著 定價八十五錢 小資本大資本 最善運用秘訣
ツアラトウストラ 生田長江 一、七〇
哲理と人生 帆足理一郎 一、五〇
新時代の宗教 姉崎正治 一、二〇
高い山から谷そこ見れば 奥野多見坤 七五
歎と紫 日向きむ子 八五
全國遊覽地名勝古蹟案内 地理旅行案内 七五
早起 山本宗之助 七五
進化と遺傳 話 高桑良興 一、五〇
新學年用文具學用品の全部[illegible]
大阪屋號
[illegible]

菓子職人 四名 至急入用
平壤南門通 井上日韓堂

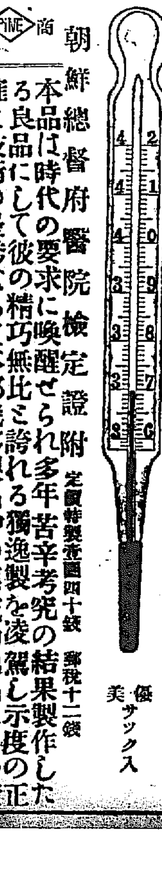
THE SAFETY "PINE" FOUNTAIN PEN

▲新機軸の萬年筆▼
始めて工夫された特許防破裝置
絶對にペン先の保護された
パイン操出式萬年筆
金六圓八十錢也



此式のペンは機械頗到如何に不注意に携帶せらるゝも決してインキの流出することはありません使用終りましたるときこのペン軸に附屬して居ります特創の鞘帽を右に廻せば螺旋の動作によつてペン先は自らペン軸內に引込む此の時キャップを上部に裝すればインキの流出するを防遏致すからでムいます因みに此形は萬年筆中尤も最近に工夫作製せしものでありまして且ペン尖が極めて軟かなる故太くも細くも自由に字體を作ることが出來て日本文を書くに尤も妙です殊に鳥の子又は改良紙にすら良く適して極めて便利でムります

◎發熱と檢温器＝家庭必備◎
△代表的模範 PINE 檢温器▽


優美 サック入

朝鮮總督府醫院檢定證附　定價特製壹圓四十錢　郵稅十二錢
本品は時代の要求に喚醒せられ多年苦辛考究の結果製作したる良品にして彼の精巧無比と誇れる獨逸製を凌駕し示度の正確と技術の優秀なるは本邦幾多製品中の模範的逸品たるを證す加之價亦廉也乞ふ眞偽は現品に徴せられたし
商標 PINE
パイン檢温器發賣元 京城太平通 電話長六六〇 振替京城三二〇六 京城日報代理部

京城日報 第五版
二十八日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金五十錢 …… 廣告料金 …… 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

下關期米 二十七日の五月限 寄付 後場止め 二十一圓九十六錢 二十一圓九十五錢 二十一圓九十錢 [illegible]

支那の形勢

京城日報

支那南北の紛爭は半年に渉りて解けず、內には憲政擁護といふ大事を控へ、外には世界的大戰役に參加し、國家の榮辱消長を賭しつゝあるに際して、斯る理由なき內訌を事とするは甚だ其宜しきを得ず、且實を云はゞ南人も北人も共に騎虎の勢、已を得ずして相爭ふものに外ならずして、南北共に自ら勝ちて他を克服するの力あるにあらず、啻に勝計なきのみならず、其爭を持續するだけの力すらこれ無し、是れ今日南北妥協談の起りに依ける所以にして、南北爭鬪の陳腐論も此邊にて打ち切るを得ば、支那人民の爲めに甚だ幸なり。

由來支那の南北其利害齟齬を相同じくせずと稱す、然れども支那は各省自治の制あり、南北各々其宜しき所に依りて自ら治む、必ずしも相爭ふを要せず、且支那が一國家として立つ間は、外侮を受くることなしと雖も、若し南北相分立せば即ち是れ不完全的國家なり、他人此に野心を懷くや論なく、恐くは自ら支ふる能はずして他の保護國たり勢力範圍たるを免かるべからず、是支那は假令單一國家として其統一を保ち、其中央集權を支ふる能はざるまでも、聯邦たり合衆國たることに依りて自ら全くせざるべからざる所以にして、支那は智慮の人に富む、其國內豈此理を解する者なしとせむや、只々爭を繰り返すといふに過ぎず、今日にありては南北共に紛爭ふべき兵力なく、相戰ふべき資力なし、而して其國民は既に此種の紛爭に倦み且厭くの情あり、此間幸に兩者の間に周旋して其意思を相疏通するものあらば、調和は必ず成るべし、我林公使が帝國政府の旨を啣して南北妥協を勸告しつゝあるは洵に其時を得たりと謂ふべし、今日支那は、憲政擁護といふ大事を控ふるのみならず、交戰國として世界的大戰役に參加す、其任務の重大なるや言を待たざるなり、特に最近露獨講和成るや、露人其軍を解いて復た戰はざるに拘はらず、獨軍前進ペトログラードの手に落つるや日を指して待つべく、莫斯科も早晩敵手に歸すべき模樣あり、蓋し獨逸は講和に滿足せずして、實力を以て全露西亞を支配せずむば已まず、露人乃ちこれに抵抗するの力なくして、却て內訌を事とし、過激派反過激派交々相爭ひ、獨逸俘虜の解放せられたるもの及び哥薩克兵等各々其の便とする所のものを助く、東西伯利亞北滿洲は則ち修羅の街たり、而して支那は協商國と共に、獨逸、墺地利、土耳其、勃牙利を敵として戰ふものたり、然るに其境上には獨逸兵の跳梁跋扈を見るのみならず、敵か味方か不分明なる露西亞人の妄動するものあるは、實以て危險千萬と云ふの外なく、其の禍患の最も切迫せるものは則ち支那なり、故に今日の支那は擧國一致以て國防を全くし、以て自ら立つの計を定むるの必要あるのみならず、極東の安全を保つの責任極めて重大なり、是れ天下の有識者皆其の南北妥協擧國一致を求めて已まざる所以なり。

遊支偶錄

蘇峰生

(六六) 回教徒(二)

若し支那に於て、眞に宗教と云ふ可きものを求めば、恐らくは唯だ回教あらんのみ。總ての者、皆な形式に流れ、總ての者、皆な虛儀に墮す。而して獨り回教のみは、聊か活ける信仰と、活ける力とを有するものに似たり。

支那は世界のあらゆる物の會滙所也。卽ち溜塲也。其の宗教の如きも、佛教あり、道教あり、拜火教あり、猶太教も、今尙ほ若干開封府に存し、景教に至りては、唐代に於ける盛況、尙ほ景教碑によりて卜せらる。而して今日に於て、獨り宗教的生命を維持する者は、恐らくは回教ならむ。

回教徒は、新疆より、北滿に及び、諸外より、南海に至る迄、殆んど一種の秘密結社たるの風あり。彼等は今尙ほ豚肉を食せざる也。今尙ほ偶像を拜せざる也。今尙ほ西方に向て跪拜する、回教式の禮拜を怠らざる也。而して回教徒の手より、食物を受取らざる也。支那を旅行すれば、如何なる僻邑にも、概ね回々飲食店若しくは、旅舍あり。其の旅舍なき場合は、彼等は其の熟面と、生面とを問はず、必らず同教徒の家に宿する也。乃ち停車場に出張して、飲食物を賣る者の中にも、回教徒あり。其の容器に淸眞とか、西域とか、回々とかの字ある小牌を、附し居るを見る也。回教徒の本塲は、支那に於ては、甘肅省なりと聞く。されど何處に於ても、之を見出さゞるはなし。其の分布の地域は、支那の領土に普きを知る可し。予は隨處に於て、所謂る淸眞寺、若しくは禮拜寺を訪へり。而して其の寺院の規模大小一ならざるも、其の構造、樣式は、悉く皆な同一なるを見たり。彼等が教徒としての氣脈相接し、聲息相通じつゝある團結は、蓋し亦た、一種の勢力たらずんばあらざる也。

開戰後の哈爾賓貿易 (五)

斯の如く一九一六年に於ける對外支那輸出貿易は一九一三年(戰前)に比し二割の增加を示せるも各種輸出貨物の價格は戰亂により著しく昂騰せるが故に金額上に於ける膨脹は必ずしも輸出數量の增加を證明するものにあらざるなり次に對外支那輸入貿易は左表の如く戰爭の餘波を受け一九一三年(戰前)より遙に減少せるが故に諸物價騰貴に際し數量上より之を見るときは更に莫大の賻減を呈したるものと云ふを得べし(單位兩)

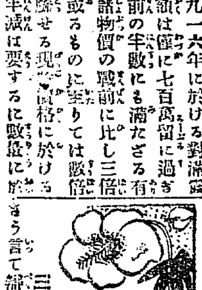
年次	輸入金額
一九一三年	五七〇二四一、五五七
一九一六年	五一六四〇六、九九五

支那全國特に滿洲に於ける貨物市場は時局以來歐洲輸入貨物の不足を感じつゝある有樣にて從來年々四千四百萬兩の貨物を支那に輸入せる獨逸及び白耳義品の輸入杜絕は地方産業發展の遲々たると相俟つて支那に於ける各市場に不利なる狀態を來さしめたるものにして諸外國は各自の製品を以て獨逸及び白耳義に代りて支那の市場を奪取せんと試みたるも何れも失敗に終れり只日本一國のみは稍々成功の見るべきものあれども之とて能く充分なる供給を成し得るや疑問なりと謂はざるべからず翻つて露國は如何に是れ亦遺憾ながら到底之が大任を負ふこと能はざるなり露國は既に久しき以前より自國市場の要求にさへ滿足なる物資の供給を爲し得ざるの窮狀にある今日支那及び滿洲に對し露國の製品を紹介すべき好位を占むる哈爾賓を領有し乍ら空しく拱手傍觀するの外なきなり而も斯の如く露國は滿洲及び支那に對し自己の製品を輸出すること能はずとせば其の結果極東植民地に於ける同胞の利益を滅却するものにして能はざるまでも物資の高價及び不足に苦しむ彼等を救濟するの方法を講ずるは焦眉の急務たらざるべからず是れ對滿輸出問題を生ずる所以にして對滿輸出問題は(一)在滿需要者の支拂能力(二)露國政府の輸出解禁の二點により之を解決するを得べきも對滿露國輸出貿易は近年著しく減退し之を一九一一年乃至一九一四年に於ける輸出高每年平均約一千九百萬留に對比せば多大の差違あり卽ち一九一六年に於ける對滿露國輸出金額は僅に七百萬留に過ぎずして戰前の半數にも滿たざる有樣なれば諸物價の戰前に比し三倍乃至四倍或るものに至りては數倍以上に高騰せる現下の價格に於ける輸出額の半減は要するに數量に於ては七分の一乃至八分の一の大減少と謂ふべく更に一九一七年に於ける對滿露國輸出貿易は一層甚しき減少を示せり卽ち一九一五年七月一日より一九一六年六月三十日及び一九一六年七月一日より一九一七年六月三十日の各一箇年間に於ける對滿主要貨物の輸出高を對表すれば左の如し因に別表年度は上段は自一九一五年七月一日至一九一六年六月三十日下段自一九一六年七月一日至一九一七年六月三十日(滿洲里稅關調査)

衣服	一五、三〇〇兩	三四、六〇〇兩
衣服用裝飾品	三二、八〇〇兩	〇兩
革製靴	二、〇〇八足	二足
護謨製靴	四四、三五五足	三、七三足
金屬製品	三三、一〇〇兩	八〇、五〇一兩
石油	三六三、七〇〇ガロン	三九、九〇〇ガロン
酒精	三三一、九〇〇ガロン	三、一〇〇ガロン
煙草	一三、六〇〇布度	四四〇布度
化粧用石鹸	一〇四、三〇〇兩	三、〇〇〇兩
婦人用衣料	四九、二〇〇兩	七、六〇〇兩

錺(かざり)

布施生譯



三十一

さう言て辯護士は細かい處まで立入つて詳しい質問をしたが中でも念を入れて尋ねたのは大佐が織衞の顏に見覺があるかと云ふ點であつた、あの晩は月明で飛出した錺職の顏もはつきり見わた位故帽子なしで走寄た織衞の顏は勿論十分見覺がある今でも遇ばそれと確定がつくだらうと答へると辯護士は『そんなら飾職を刺した劍はどうなさいました』『それは其場に捨て丶來ました』『勿論其劍には見覺はございましやうね』『有りますとも現に先日總督の役所で見て來ました』。

小久保辯護士は頷いて『宜しいそれでは早速お二人で織衞氏の所へ往つてもう一度唯今のお話を繰返した上織衞の冤罪を證明して戴きましやう、さうすれば結局裁判は再審になつて織衞は師匠殺しの罪だけは免れる事になりましやう、しかし師匠の罪惡を知りながら訴へて出なかつたと云ふ事、織衞も殺人の手傳をしたのでは無いかと云ふ嫌疑は容易に解けませんが兎に角當人が輕地殺しの本人で無い事が明白になり國民の憎惡が自然に晴れゝばあとは陛下へ直訴して何とか救出す方法がつきましやう、兎に角唯今申上げた織衞氏と御會見の一條を早速御著手願ひたい』。學士と大佐とは一度に立上つて暇乞もそこ／＼取急いで織衞の許に驅付けた。

仔細を聽いて織衞は淋しい顏をしたがさう云ふ確な證人が出て見れば仕方が無い、殊に家宅搜索の結果師匠の秘密室の仕掛が現はれ中に藏つてあつた[illegible]には一々輕地の手續が詳細に書留めてあつた、流石の織衞も證據には勝てず到頭錺らしい裁判の更改となつて織衞は首尾よく師匠殺しの罪は免れた、明子の喜びは固より改めて言ふ迄もない。

吻と一息ついた學士が次に頭を惱ましたのは國王に直訴する手段であつた、國王路易十六世は今度の事件が耳に入つて以來織衞と云ふ名が大厭ひで放心王の面前で其名を口にしてさへ御不興を蒙ると云ふ位であつた、其位厭な織衞の特赦を願はうと云ふ歎願だから果してどの位耳を傾けて呉れるだらう、流石の學士も手段に窮して二三日は其儘過したが乾と思付く事があつて王が碧の方の臨へ出御になる時刻を見計らひ自分も其處へお伺ひをした、王は直に謁見をお許可になつたが不圖御覽になると學士は黑の喪服に一際眼立つた頸飾を著けてゐる、王はそれを見ると莞爾して『はゝあ今日は學士の結髮の忌日と見ゑるな』と戯弄はれた、學士は動せす直に其尾について『お言葉ではございますが私の結髮でございましたら何も此樣に著飾つて謁見は致しません、もうあの錺職の事は思出すのも厭でございます』『あゝそれでは學士は、あれの死顏でも見たのかな』。〆た、學士が考へに考へて組立てた工の榮踏に巧く引懸つて王はつい此樣した問を釣出されて仕舞つた。

九州視察團=團體種別

◎福岡市開催 九州沖繩物産共進會視察
◎久留米市開催 全國發明品博覽會見學

朝鮮、九州兩鐵道局格別の賛助に依りて主催兩社は從來比類なき理想的團體を編成實行する事となれり

福岡縣人團
京仁在住の福岡縣人諸君にして歸省を主とし福岡共進會、久留米博覽會視察の外九州遊覽の要なく自宅、親戚、知友等あり、旅館宿泊の必要なき諸氏は往途博多驛下車一時解散、歸途博多乘車合同豐州線耶馬溪、湖南、別府二泊溫泉浴等を加へ
◎會費 金四拾圓
を申受く多數同縣人參加を俟つ

大分縣人團
京仁在住大分縣人諸君にして福岡共進會視察の外九州遊覽の要なく豐州沿線に歸省する諸氏の便宜を圖り大分縣人團を組織す
◎會費 金五拾圓
とし十九日朝福岡に本隊と分離各歸省等自由行動(其間は經費自辨)廿四日中津又は別府の兩所にて再び本隊と合し耶馬溪遊、別府溫泉浴を共にして歸鮮す

全鮮地方團
京仁團以外九州遊覽視察團に加せらるゝ諸氏の便宜を圖り京仁團會費八十圓を標準として汽車賃を增減したる會費
◎西鮮團(平壤發) 八十五圓
◎湖南團(大田發) 七十九圓
◎南鮮團(釜山發) 七十圓
と規定す各地よりの參加諸君は主催兩社又は支局宛申込みあれ

婦人團
今回の視察團は御希望に依り日鮮婦人の參加を歡迎す、但し夫妻、親子、兄妹等の關係者、責任ある保護者の同行を必要條件とす、會費行程等は勿論男子團と同一也

御注意
◎但し左記特種便宜の福岡大分縣人及び地方人三團體の何れも參加者廿名以上と云ふ朝鮮九州兩鐵道局の條件があり升
※ ※ ※ ※ ※

此理想的團體の發表は一般の賛同を得て會員早くも半數に達す締切期四月五日! 最好機會を逸せらるな

主催 京城日報社 每日申報社

專賣特許第三二〇六九號
木材防腐防蟲劑
◎クームヒン
白蟻、浜蟲に特効あり
……說明書御申込次第送付……
製造發賣元 京城旭町一丁目 山田商店
電話一〇七八番 振替三一九六番 龍山電話四二四番

中學世界 四月號

定價金二十三錢 郵稅二錢 東京本町 博文館

◎大なる基礎(新學生訓)……三宅博士
◎春の愁、卒業の悲……[illegible]
◎運動復古論……丘理學博士
或る師範生の悩み
◎全國優等賞金一覽 ◎北米の苦學生々活……Y
◎平和會議と羅列の思出……松波法學博士
學資乏しき青年 學力劣れる青年 の進むべき路
◎小說 別れ……柳澤 健
附 寺內伯の腕白時代……本多 三日月
◎受驗 高校問題變遷

一從來當座預金ハ組合銀行間ノ協定ニ據リ最低殘高壹百圓以上ノ場合ニ限リ利息ヲ附シ居候處今般組合銀行ノ決議ニ基キ右最低殘高ノ制限ヲ參百圓也ニ改メ來ル四月一日ヨリ實行可致候

右廣告候也

大正七年三月

株式會社朝鮮銀行
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所
株式會社漢城銀行
株式會社漢湖農工銀行
株式會社京城銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行

小學校を卒業して

女學校に入學

出來ぬ事情のある方は此講義錄をお讀みなさい

實修女學講義錄

本會に入會すれば每月二回宛講義錄を配布し外に婦人雜誌女子の友を每月送られ講師諸先生が懇切に質問に答へられ學校に學ぶのと少しも違ひませぬ特に婦人に大切な裁縫造花刺繍などは女學校以上に詳しく學ぶ事が出來ます

會長 從三位 下田歌子先生
北白川宮妃殿下 竹田宮妃殿下 東伏見宮家 台覽

講師 [illegible]
入會金 [illegible] 一ヶ年 大時典
講義錄見本付會則代進呈

大日本實修女學會

物品入札拂下

石油發動機船 惠安丸(四噸四分 六馬力 附屬品共) 壹艘
汎式小型鑿孔機械(解體品ニシテ附屬品共) 壹臺
古丸錐(銹銕混合) 百拾貳貫
古金(銹鐵、溶銑) 貳千九十貫
古金(銹鐵) 約百九十貫
右入札ハ來ル四月六日午前十時トス詳細ハ三月二十二日朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正七年三月二十三日
朝鮮總督府營林廠

正誤 去ル二十三日本紙第二面ニ揭載シタル公告ハ誤植ノ箇所アルニ付取消ス

株式名義書換停止

定款第拾四條ニ依リ本月貳拾九日ヨリ臨時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正七年參月貳拾七日
株式會社朝鮮商業銀行

看護婦生徒募集

一、募集人員 大連醫院 參拾名 奉天醫院 參拾名 撫順分院 拾五名
二、願書締切期日 四月十五日限り
三、詳細は本院に就き承合せらるゝか又は郵便にて問合さるべし
大正七年三月
南滿洲鐵道株式會社 大連醫院

競爭入札廣告

左記物件を來る四月十二日正午を限り競爭入札に附す
大正六年十一月新潟縣直江津海岸に乘揚げたる汽船さかい丸(鐵製總噸數七〇九噸)船體(汽機汽罐屬具一切)
積荷石炭
入札希望者は當會社東京本店又は大阪、神戶、名古屋、橫濱、函館、小樽、直江津、門司、長崎代理店の何れかへ照會ありたし
東京市丸ノ內
東京海上保險株式會社

京城驛前 鐵道拂下品販賣

▲鐵道服、袴下、手袋、靴下類一切
▲鐵道局特製品三揃並に詰襟、徳川品鬼せる改良服半ズボン、スコッチ詰襟折襟其他新調品特に勉強御相談
▲中古品可成御注文に應じ候
新古男女洋服類一切 衣裳多少御注文御請負
龍山元町二丁目 奥 金子商店
電話長一〇五番 振替京城三八一三

ダンキルク沖大海戰
獨艦隊敗北＝爆彈攻撃を受けて分散す

廿一日のダンキルク沖驅逐艦海戰目撃者の談に曰く英驅逐艦ボッツ、モーリス、佛國驅逐艦メール、マゴン、ブーチエルの五隻は警邏勤務に服しつゝ英佛海峽を下方に向つて航行中折柄北方に當りて砲聲の轟くを聞けり之れより先き敵艦隊は殆ど人の住み居らざる佛國海水浴塲を砲撃し居りしかば我艦隊はボサを先頭として全速力を以て火光の閃く方へと急航し間も無く敵艦の一隊が闇と霧とに乘じて逃走せんとする隊影を濛氣の間に發見茲に戰鬪は開始されたり先づモーリスは一隻の大型驅逐艦の退路を絶ち之れに水雷を發射して撃沈しボサは敵彈の爲め主要なる煙突を折られしも毫も屈せず突進し先頭に立てる敵艦目蒐けて船首、船尾双方の水雷を發射し第四番目に命中したる敵艦に衝角突撃を行ひ見事眞二つに裂きたりボサは更に船首を回らして次位にありし敵艦目蒐けて衝角突撃を試みたるが敵は巧に是れを避けたるも佛國驅逐艦來りて遂に粉碎したり敵は十八隻より編成され而も我艦隊は僅か五隻にて敵を蹂躪したり殘れる敵艦十五隻はオスタンド方面に逃走したるが途中我海軍飛行機より爆彈攻撃を受け分散せり尚我飛行隊は敵の飛行機四臺を射落したり（倫敦電報）

茲數日が見物
乾坤一擲の決戰

陸軍當局の觀測に依れば西方戰塲の獨軍は廿一二の兩日前線五十粁に亙りて歩兵攻撃を行ひ更に陣容を固め最前線二粁正面に一個師團の割合にて兵を配し其後線に同樣一個乃至二個師團の兵を配し居れば對英軍の攻撃に當れる獨軍の兵力は七十個師團內外に上るもの〻如し主なる正面は巴威皇太子軍にして右翼の一部は獨逸皇太子軍に屬し是れに墺軍の一部も參加し全數百八十三個師團を超過す可し二十三日獨軍はバツームの東方よりペロンヌを經てハムに亙り十五粁乃至二十粁の進出を爲したるが廿三日の公報に據れば今回の攻撃には獨帝自ら指揮の任に當り二十三日迄に巴威皇太子軍の正面にて英軍の第二線を奪ひ更らに第三線の前面に達し獨皇太子軍の正面に於て其一部は既に第三線に侵入せりとあり孰れも兩者を綜合すれば英軍が西方に移動せるは事實なるも未だ深く突入されたるが如き形跡なし由來英軍は防禦力相當に強く遂に致命的打撃を蒙る事無かる可きも茲數日間が見物にて英軍の運命は此の間に決す可し獨軍が其の勢力の過半を集中して乾坤一擲勝敗の決を採らんと企圖せる此の攻撃の成功すると否やは聯合軍全部の運命にも關すべし（東京特電）

ペロンヌ占領公報

伯林廿四日午後發 獨逸本營公報はペロンヌの占領を主張し捕虜の數三萬、鹵獲砲六百門に達せる旨を述べたり（倫敦電報）

敵更に攻撃開始

ヘーグ二十四日發 獨逸報告に曰く『敵は二十四日朝ペロンヌの北方に於て新たに猛烈なる攻撃を開始し而も終日繼續せり敵は遂に二、三の地點にてソンム河を渡れるを以て我軍は是れに對抗する策を講じつゝあり（倫敦電報）

露國政府に警告

三月二十九日華盛頓發 米國大統領は露國民の同盟者たる米國は獨逸の進撃に對抗し組織せらるゝ露國政府を支持するに躊躇せざる旨を聲明せるが獨逸外務次官は右を指摘し獨逸政府は露國政府が斯の如き對獨宣戰的勸告に對し中歐諸國との平和條約の趣旨に適合する回答を爲す可き事を確信する旨莫斯科政府に警告的通報を發したり露國無線電信に據ればトロツキーは事態研究の爲め英米參謀士官四名と共に西伯利に出發せり（巴里電報）

悲痛なる露人の弔詞
盛大なりし邦人慘死者の葬儀

（黑河二十四日發）黑河居留民會にては二十日ブラゴエチエンスクにて慘死せる邦人五名の葬儀を執行せるがブラゴエチエンスク、黑河在留邦人全部及び同地避難中の露國義勇民兵將校團及市民多數の會葬あり未曾有の盛儀なりき尙ゼンストボー市會議長將校團代表者は悲痛なる語調を以て弔詞を朗讀し勇敢なる故人に對しては他日酬ゆる所あるべし健全なる露國民の衷心信頼すべきは日本帝國を除きて他に無しと述べ多大の感動を與へたり（哈爾賓特電）

西伯利鐵道復舊

久しく運轉を中止し居たる滿洲里、チタ間の列車は過激派との交渉成立し急行列車は一週三回定期に兩地間を連轉する事となり又黑龍江鐵道も總て運轉復舊したりと（哈爾賓特電）

聯邦共和國創設

露都廿一日發電に據れば勞農政府は回々教徒の承諾を得南部ウラソ中部ボウオルジス地方に於ける西亞聯邦共和國の一部たるタタール、バシユギル族の共和國創設に決したり（哈爾賓特電）

獨波同盟成立乎

獨逸は波斯との同盟を計畫せりと傳へられ居れるが莫斯科發電に據れば廿日波斯の代表者はテヘランよりコンスタンチノープルを經て伯林に向ひたりと謂ふ（哈爾賓特電）

在留支那三國民召集說

上海電報として傳へらるゝ所に據れば上海天津駐劄の英、米、佛三國領事は西伯利に出動す可き軍隊の編成を爲す爲め四十五歲以上の自國民全體を召集せり（哈爾賓特電）

浦鹽勞働者
同盟罷工

浦鹽來電に據れば同地エグリシエリド波止塲の勞働者は賃金問題に關し同盟罷工を聲明し波止塲の作業は全く中止されたり（哈爾賓特電）

聖上行幸

天皇陛下には近衞師團御檢閱の御思召を以て二十七日午後一時半宮城御出門青山なる近衞師團四聯隊へ行幸あり黑田聯隊長以下に拜謁を賜ひ各種の教練天覽午後三時御機嫌麗はしく還幸遊ばされたり（東京特電）

首相議員招待

寺內首相は二十七日議會閉院式後兩院の議長、副議長、議員、政府委員、事務局高等官、國務大臣、政府委員招待の爲め約四百五十名を新宿御苑に招待し假立食塲に招待し午餐の饗應を爲したり首相の挨拶に對し兩院議長の謝辭あり宴終了の後一

大阪だより

▲紡績營業成績　大日本紡績［illegible］し純益金四千百三十萬圓にて前年同期の［illegible］割一分一厘なるが戰前及び前半期との比較左の如し（單位千圓）［illegible］

［illegible］は元産肥［illegible］五十七圓二月積二百五十圓四月積［illegible］二百四十一圓豆粕はインボイス五［illegible］圓十一錢四月物五圓八錢五月物五［illegible］

［illegible］に魚肥の減切り商を演じ居れる［illegible］料たる魚肥の騰貴を助長し入肥並［illegible］

▲棉の作柄は米印兩棉と同じく不作［illegible］の關係上相塲騰し印棉に追隨せ［illegible］ん勢なるを以て支那人紡績業者中［illegible］有利なる先物の準備なきため近頃［illegible］

▲織物取引大變調　目下［illegible］が如き變調には至らざるべしと［illegible］供給が果して需要を充すに足るや［illegible］末迄僅に三十日を剩すのみなれば［illegible］引も上中下向の三回に分つなど依［illegible］一時に大注文を發すれば産地品薄［illegible］の關係上相塲を昇騰せしむる惧れ［illegible］

▲關西銀行大會　關西銀［illegible］行大會は例年手形交換品聯合會［illegible］終了後當時に開催せらる、例なる［illegible］反對の氣勢を呈し居れり［illegible］

佛國より賞金
永代丸船長以下に對し

潜航艇と激戰したる永代丸船長以下に對し今回佛國陸軍運輸部より賞金を交附されたり（大阪特電）

火災保險協定率
朝鮮に實施か

火災保險協定率は從來朝鮮、臺灣は除外され唯だ臺灣のみは工場等を內地同樣に適用し來りしが此程朝鮮一圓に對し普通特別物件をも內地同樣實施せんとの議あり目下聯合協會にて委員を設け協議中也（大阪特電）

日本棉花增資

日本棉花株式會社は資本金を一千萬圓と爲すべく四月十五日の總會に附議する由（大阪特電）

阪谷男通過

阪谷男一行は廿七日朝釜山着直に京奉線にて北京に向け出發す（釜山特電）

旅客檢疫撤廢

三月五日都督府告示を以て山東省一帶の地をペスト流行地と指定し同地方より來る旅客の隔離檢疫を行ひつゝありしが二十六日附府令にて是れが撤廢せり（大連特電）

市塲問題と各地市塲狀況（四）

▲神戸市塲　神戸市の食料品市塲は十個所を算し其の主なるものは株式會社神戸魚鳥蔬菜物市塲にして資本金百萬圓明治三十九年の設立に係り家屋の建坪二百九十五坪あり宮前町及び兵庫運河に分市塲を有す本市塲は生魚青物業者八名の問屋に貸與し一萬六百圓の使用料を徵し兵庫分市塲は一萬圓を以て八名の問屋に使用せしむ此等本支各市塲の取引年額を見るに本市塲に在りて九十萬圓內外、宮前分市塲は三十八萬圓內外、兵庫分市塲は六十萬圓內外なり又株式會社神戸林魚類市塲は建坪五百四十二坪明治九年の創立に係り同二十三年附近の市塲と合同して株式組織となしたるものなり取引年額二十五萬圓內外に達す

▲臺灣市塲　臺灣は帝國領土內に於て最も早く公設市塲を設け現に臺灣の衛生費の三割二分は此等市塲の收益によりて支辨せられつゝあり現今公設市塲數は百四十に達し各廳の支配の下に在り其の取締方法及び經營方法は未だ審かにせずと雖も或は市塲全部を擧げて悉く競爭入札によりて請負はしむるもあり或は廳自身直營して其の一部分を請負に附するものあり其の何れの方法によるも使用料を納付したるものは何品に限らず其塲所に於て販賣する事を得使用料金は月貸及び日貸の二種とし雜貨野菜獸肉（以上四圓乃至八圓）生魚（六圓乃至八圓）飲食店（四圓乃至五圓）等の月貸料を徵收し（臺北）菓子等（一錢）蔬菜薪炭油類物類（二錢）魚獸肉果物飲食物類（三錢）の日貸料を徵收しつゝあり臺灣の公設市塲は全く公衆衛生の方面に於て最も効果を擧げたるは勿論其れが爲め生産者と消費者とは直接取引の便を得益々盛んに利用せられつゝあり大正二年の狀況を聞くに臺北の公設市塲最も大にして賣上高二百萬圓以上を算し全島に於ける總收入は三十萬五千圓に達せりと（京城商業會議所調査）

首相に下賜品

二十七日帝國議會閉院式擧行に就き寺內首相連日の勞を思召され特に酒饌を賜はせられ肴一折下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

第四十回帝國議會（東京特電）

閉院式
首相勅語捧讀

第四十回帝國議會は二十六日滿了に就き廿七日午前十一時貴族院に於て閉院式擧行せられたり右に就き各式部官は午前十時より式塲の設備を爲し棚田、寺田書記官長以下準備に從事し寺內首相以下國務大臣、德川、大岡兩院議長以下各議員は定刻前より參列、十時五十分各議員は式塲に著席し、十一時寺內首相國務大臣等を隨へ式塲に臨み、玉座に向ひ最敬禮の後別府書記官の捧ぐる勅語書を拜受し嚴かなる語調を以て勅命を奉じ帝國議會閉院式の勅語を捧讀する光榮を辱くすと述べ左の勅語を捧讀せり

勅語

朕貴族院及ビ衆議院ノ各員ニ告ク　朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ而シテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉賞ス

世間參列の議員最敬禮の中に寺內首相は右勅語書を德川議長に授け議長是れを拜受し茲に無事閉院式を終了す

京綏線復舊

ペスト豫防のため本月九日以來列車運轉休止中なりし京綏線は運轉を復舊せる旨滿鐵大連管理局へ通知ありたり又山東鐵道に於ても本月二十一日より濟南濰縣間（博山支線を含む）にては支那人三等客を除き各國人各等客の乘車を許可することゝなりたる旨同局へ通知ありたりと

臺灣市塲

（前揭「市塲問題と各地市塲狀況」中）

東拓記念植樹

東洋拓殖會社京城支店にては來る四月三日第二回記念植樹をなす事となりしが植樹地は京義道高陽郡神道面高頭里丁山の國有山野にして京城在勤社員は四月三日午前八時半までに西大門外獨立門に集合同時刻を以て植樹地に向け出發すべく植栽式は午前十一時植樹は午前十一時半より午後零時半に至る間にして午後二時より四時に至る迄餘興運動をなし午後五時水色驛發同卅八分南大門著解散する由

限外發行千萬

三月十七日より二十三日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千二百四十二萬六千三百卅八圓にして保證準備發行平均高は三千九百四十一萬圓を示し限外發行九百四十一萬圓なり尙ほ週末の發行高は六千三百零八萬一千九百五十二圓也

調查局減員

臨時土地調查局判任官定員六百四十七名は二十五日四十六名を減じ六百一名に減じ同日附四十數名に對し免官の辭令を發したり

鮮銀總裁動靜

久しく東上中の鮮銀總裁美濃部俊吉氏は什種秘書役を隨へ四月五六日頃東京出發歸鮮の事となり居れるが又直ちに臨時總會臨席のため東上の筈なりと

三島理事歸任

東上中なりし三島鮮銀理事は二十七日午後九時著列車にて歸京行員其他多數の出迎へありたり

●片山新理事來期　片山新鮮銀理事は三十日午後九時南大門驛著列車にて來京の旨鮮銀に消息あり尙ほ大田理事は片山氏來京後歸運の豫定なり

人事消息

▲吉松憲郎氏（慶北第一部長）二十七日夜入京浦尻へ

▲長野一郎氏（大邱覆審法院判事）同上不知火へ

▲島田氏功氏（東京實業家）二十七日夜入京天眞樓へ

百鬼百種

▲トルストイ伯の兄の家は代々慈悲深い家筋であつたが今度の革命に依つて無智なる農民の爲めに焼打ちをせられ其の家族は重輕傷を負つたさうだ

▲昨日まで榮へた此の貴族も一朝にして家財全部を失ひ病傷の家族を引連れて自分所有の森林の中で天幕生活をして居ると無殘なる農民等は又森林に放火して此の氣の毒な貴族の一家を狩出して終つたト翁の兄は氣の毒にも今ではフインランドの方で乞食同樣の生活をして居ると云ふ事だ

▲露國の農民が暴れ廻るのは何んでも猶太人に煽動されて居るのださうだが彼等の煽動は却々熱烈を極め群衆心理を形成するに適して居るとのこと

▲『之れは汝等の血と汗とで造つた家だ汝の血と涙を吸つて茂つて居るも森林だ誰にも遠慮は要らぬ燒け！燃せ！』と云ふ風であるので『流石に悲惨を生んだ民族だ』と評してゐるさうだ

京日案內

▲自過去十日間掲載料金（一回前金）一行五十錢（一番外定價二倍）
▲六號以上の呼出文字は其料金を二倍とす
▲回数割引は総て取扱はず
▲掲載前金は必ず數字の金額を記入ありたし

（啓事）

●店員入用　十三歲より十八歲迄
京城本町二　松前屋小間物店 575

●代診生採用　希望者は履歴書を
添附せらるべし
齋藤內科小兒科病院 591
南大門町

店員募集　運送業に經驗ある希望者は履歴書携帶來談あれ
京城鍾路丘丁目　丸二運送組 537

改布招聘　醫任學科。幾何、代數、京城物理、化學、乙種、國語漢文學者
京城大漢門前 188

●裁縫師數名入用　但技術熟練の者の希望者至急照會あれ
開城大和町　廣島屋洋服店 035

●店員五名入用　十五六歲常備の者卒業程度の者直接來談あれ
京城觀谷川町鬼頭支店

洋貨卸商　黃金町二丁目電話次二三三〇

古服高價買入御報參上　木村洋服店 482

（番外）

外務員招聘　保證人有給要二名
希望者京城旭町一大師堂前第一生命保險相互會社朝鮮北方部長社宅
堀田迄來談あれ但面會午前中

書記招聘　廿五歲以上月給卅圓內外支給す希望者四月一日より三日迄本人來談あれ京城黃金町三丁目日華生命保險會社朝鮮出張所 594

社員採用　希望者は
男女履歴書携帶午前中來談あれ
京城黃金町三丁目二九一
愛國國債株式會社京城支部 595

店員二名記帳係一名入用
希望者は來談但市內に保證人を要す
年齡卅歲以內給料面會の上定む
本町三丁目（改府于攸）590

椅子卓子金庫
新古格安製造販賣
京城黃金町二
長電二四二一　室商店 589

店員入用　十六七歲位高等小學校卒業の者
希望者は本人直接來談あれ
吉野町一丁目（自働電話角）
貿易商　中島竹次郎 572

運送業に經驗あるもの數名入用　希望者は左記へ來談又は履歴書送れ
仁川　京城日報支局 571

看護婦見習入用　年齡十五六歲の者數名但希望者來談但市內に保證人を要す
京城本町壹丁目　石川醫院 567

店員入用
安東縣支店入用
京城本町二　龜屋商店 584

鑛物各種分析
太平町二丁目二二六電長二八二三
遞信局前　松永分析所 592

中古ミシン買入
御用の方は電話又は端書御一報を乞ふ
京城鍾路二バゴダ公園近電二三三八　楠商店 463

恩給年金長期低利即金立替　一切引受
し公債債券現物賣買　擔保貸附
京城若草町百六
電話三〇壹壹番　西村商會 448

店員入用　十三歲より十七歲迄三名與保證人
京城本町一丁目電話壹〇七二番
メリヤス雜貨和洋商　鈴木支店

工塲賣却　亞鉛葺二階建四十坪餘
京城日出町三番地
電話三〇四四番　入江 556

ニンジンブトウシュ の商標權

○弊店發賣の旗印蔘精葡萄酒は品質優秀、効果卓抜、信用鞏固、賣行夥多、販路廣汎爲之豫め僞造品模造品、類似品等の濫用を防止せんと欲し嚮に農商務省特許局へ商標權出願せし處今回全部登錄相成申候

◎文字全部　◎効能說明書
◎商標全形　◎包紙全形
◎口張紙　◎其他

農商務省登錄商標　第九一三五五・九一九九八・九二〇〇二・九一二〇六・九一五二〇・九一二〇〇〇番

右にて最早何人も一指を染むる能はず候條自然類似品、模造品等御發見の場合は御內報相願度候
而して引續き御愛顧の程偏に願上候

現代日鮮滿人の體質に適し滋養飲料の第一品を求むれば……旗印蔘精葡萄酒

發賣元　釜山　ビワコ屋　店主　原田寛二

人蔘界의名星○眞正本場產益宇標開城人蔘提供

朝鮮開城南本町

開城人蔘商會

生存競爭에이순健康을要하고健康에이순人蔘을要함

內科　外科一般
小兒科　婦人病
皮膚科　花柳病
京城黃金町一丁目（長橋通角）
朝鮮病院　診療
（入院隨意）
（電話二八三七番）

…資本金一億五千六百五十萬圓拂込資金一億一千百五十九萬圓に對…

△肥料減切好調　米價高及…

…下半期…百圓下半期並に明年一二三月物三…四十八圓にして硝石…物は二百…

△支那紡績休錘說　支那…の紡績には却つて有利の…なるに…反し支那人經營の紡績に休錘の餘…も大ならざるべく支那紡績の生產に…減退して本邦絲の需要を增加する…も共に後れ前途五月より發錘期六…に警戒し過ぎたる爲め注文も製織…なり問屋側は多額買を見合せ注文…絲商に氣乘りし織物產地は本年に…に依りて產地に申込み一箇月の取入り絲商每に氣配ボケを演じ全く…みに現在會員は關西二府二十六縣…三百二十四行なり

九州視察團寫眞帖（八）

別府東石地獄

漢方で固まつてゐる支那

＝近代醫術は未だ發達しない

佛蘭西の醫者に診て貰つたが其藥は飲まなかつた袁世凱氏

▽日本留學生は樞要な地位に居る△

支那の醫界はまだ何んと云つても漢方醫の天下、所謂西洋醫術は殆んど御話しにならぬ程幼稚なものだがソレでも近來日本の醫學校出身者が大分殖ゑて來た事は喜ばしい現象でゐる、今衞生局で◆樞要の地位 を占めて居るのは悉く日本に留學し日本の學校に學んだもので米國あたりに留學して居た人も居るには居るけれどコレ等はまだ日本留學者の比ではない、吾輩なぞの教へた者も可なり居るが這度久し振りで會つたところ非常に喜んで彼れ此れと歡待して呉れた、敎鞭を執つて居た當時は格別氣にも留めなかつたが◆一度異境に旅して

異境の人から

◆肉親も及ばぬ溫情を受けると云ふものは眞底から嬉しいものである、無論コレ等の人々は頗る的の親日黨で陰になり陽に日支親善の爲めに努力して居るところは誠に感謝に堪へぬ、將來も◎日本留學者 は續出するであらうが當局も能く此邊に留意して出來る丈留學生を厚遇して好感を抱かせると云ふ事が肝要であらう、そして醫術に限らず萬有文化は日本から注入する――コレは政治的の意味からでなく◆近頭八釜しい日支親善の上から◆見て必要な事だと思ふ、ソコに行くと米國邊りは甚だ旨くやつて居る、公使館などでも時々は自國の留學者を招待して御馳走し談笑の裡に深く〳〵親善の根を植ゑ付けると云ふ風で如才なく立ち廻はつて居る、支那の醫術が發達しない理由は種々あらうが極く卑近なところでは一般國民の頭がまだ◆漢方で固つ て居るからだ、支那の國民は概して西洋醫術の強烈な藥よりも軟かい草根木皮の方が利き目があると信じて居る立派な教育を受けた大官連ですら理窟は百も承知で居ながら西洋醫藥は決して服用せぬ、亡くなつた袁世凱氏の如きも病氣の時は佛蘭西の醫者にも診て貰つて居たがコレは單に◆診て貰ふ丈の話で其醫者から進める藥は一つも飲まずに捨てゝ了ひ蔭ではコツソリ漢方藥を用ゐて居たと云ふ實例がある、「上の好む處下之より甚し」で其他の國民に至つては全く漢方一點張り、漢方だからと云つて決して排斥すべきものではないがコレでは◆近代醫術が 發達しようとしても到底發達する譯がないではないか、尤もコレは內科の話しで外科は稍や重寶がられて居る、然し腹する處コレは斷つたり、縫つたりの手際が鮮かで忽ち効驗が見ゆるからであらうと思ふ（北島醫學士談）

□皇后宮行啓

學習院授與式

學習院女學部にては二十七日皇后陛下の行啓を仰ぎ卒業證書授與式を擧行したるが皇后陛下には九時二十分宮城御出門同校に成らせられ式場に臨ませられ後ち御便殿にて生徒製作品台覽優等生に恩賜品の下賜あり十一時半還啓あらせられたり（東京特電）

◎肅親王の姬君

工學堂敎師となる

本年旅順高等女學校を卒業したる肅親王第三令嬢末子姬は姉君等と共に內地にて高等教育を受ける筈なりしが父王の希望に依り支那人子弟の敎育に身を委ぬる事に決し四月新學期より大連工學堂敎師として就職し我國語を以て支那人子弟を薰陶する事となれりと（大連電話）

◎非常に激增した入學志願者

善隣商業校入學試驗

他校に比して意外な程に龍山の善隣商業學校では二十七日午前八時から入學試驗を開始したが生活難の聲が高く今年は各學校共志願者が減つたと云ふにも拘らず◆◆此學校 は豫科と本科一部を合せて二百三十三名、本科二部五百七十名、夜學專習科百二十名と云ふ好況、昨年にくらべると非常な激增である、試驗は二十八日も引き續いて行ひ二十九日に本科三十日に豫科の成績を發表する筈であるが◆◆志願者 の激增したことに就て同校職員は斯う語る

今年の志願者の多い事は學校側でも寧ろ意外とするところで今も話して居た處だがコレは要するに段々生活難の聲が高くなつて來た爲め成可く早く◆◆就職口 を求めさせねばならぬと云ふ觀念が一般の頭に沁み渡り殊に實業界に志す者が多くなつた結果であらうと思ふ志願者も以前は殆んど京城附近に限られて居たが今年は南は釜山、木浦、北は安東縣あたりから態々出て來た生徒も居る◆鮮人の 方は殆んど全道に亘り中には咸北邊の山奧から父兄に連れられて來た者も居る、鮮人の中にも却々資產家が多く一番少ない處で三千圓位、苦しい中から無理な工面をして子弟を勉強させると云つたやうな者は先づ見當らぬ

◎來賓を驚かした流暢な國語演說

◆上田視學官歎稱す　梨花學堂卒業式

京城貞洞私立梨花學堂に於て廿六日午後七時半より班日會（學藝會）を開催し二十七日午前十時半より卒業證書授與式を擧行したるが同學堂は米國人の經營に係るものなるが朝鮮人女子教育の嚆矢たる女學校なり而して當日の卒業式は米國式と日本式を折衷せし一種異れる面白き形式をとりたるが同學堂は先頃まで英語のみを以て教授せしも近來◆國語をも 課する由にて殊に當日の式場にて卒業生中流暢なる國語にて三十分間以上に亘れる演說をなしたるものあり又た二十六日の班日會に於ては中學科卒業生李桂英は『戰爭より得たる敎訓』と云へる題にて約三十分間◎國語演說 を試み師範科卒業生韓明心は『幼稚園精神的外觀』と云へる題にて鮮語演說をなし大學科卒業生金活蘭は『高等教育と家庭關係』といふ題の下に約四十分間英語演說を爲し終りて何れも之を鮮語にて飜譯し來賓を感動せしめたるが臨席したる上田視學官も其流暢なる日英語演說に何れも舌を卷きて歎稱したり因に當日の列席者は內外紳士四五百名なりし

座談　手際よく出來る家庭染

―染料の買入と染方の注意―

一反八九十錢しかしなかつた裏地が一圓四五十錢も出さねば買へぬ時節柄死藏して居る縮緬木綿織などの古いのを染返して結構用ひられますから

◆◆家庭 經濟上の一端にもと其染方を申上げませう家庭で簡便に手際よくしようと云ふのですから成るべく手のかゝらぬ方法でなくてはいけますまい

◆◆染料 の買入 先づ染料屋に行つて黑色なり茶なりオリーブなり好きな色を見て買ひます色は淡いと縞柄が現はれたりしますから相當に濃い色を選ぶのが宜しう御座います

◆◆染め る準備 大きな鍋の中へ水八分目程入れ夫を沸騰させ其の中へ古單衣一枚に付二匁許りの染料を入れ能く解いた後に又其中へ硫酸曹達を一掴み入れます硫酸曹達は五錢も買へば澤山あります先づ染料と曹達とを入れましたら其の中へ染めようと言ふ反物を入れ約廿分許り煮ます

◆◆染方 の注意 此間に萬遍なく沁み渡るやう攪廻さねばなりません若し中に結ばれがあつたりなど致しますとムラになりますから能く解さねばなりません湯の上へ浮いてゐたりしても矢張りムラになりますから絕えず湯の中に浸る樣注意が肝要であります夫して充分浸りましたら夫れを引上げ水で濯ぎ糊をつけて張板に張れば立派な裏地が出來ると言ふ段取りになります

◆◆良く 洗ふ事 染方は何の造作もないのでありますが今一つ大切な注意は反物を鍋に入れる前細かに解き石鹼で良く洗ひ充分濯ぐ事です汚れがあつては色はムラがなく著きませんから濯いだら水の附いた儘入れても差支はありません（某婦人談）

京龍情死史（十三）

戀の落人

逃れ〳〵て身の置處もなく

氷の漢江に若き男女の抱合心中

『あゝ苦しい峠谷のあたりに錐を刺されるやうにだくるしい』此世の人とも思はれない程窶れ果た男の枕頭には世界隈に珍らしい、仇つぽい女が白粉灼のした臉に言ひ知れぬ愁しさを包んで、しよんぼり坐つてゐた、三日四日と隱家を探しては世を忍んで來た二人は何時の間にかもう◆小金も使ひ 果して着のみ着のまゝの衣類も脫いで旅籠代に代へその上男は永の心勞と風邪の氣味で床に就いたなり十日經つても廿日經つても枕が上らなかつた『どうしようね……』女は醫者を聘うとしたが部屋の中を見廻しても粉藥一服買ふだけの資糧さへなかつた、刺すやうな風は障子の破目から二人の運命を罵るやうに吹き込むで來る途方に暮れてわあ！ツと◆泣き崩れる と何處からともなく『一死ぬるとも此所故鄉の土となして、の母の墓所、一所に埋れ擧姑の末永く…させたいと目もうろ〳〵になりければ』と忠兵衞が淚の一節、風に送られて聞ねるを今まで切ない息の下に苦しんでゐた男は首を擡げて凝と眸を澄ました、女も險しい眼光をしながら起上つた、腸を斷つやうな白い風の間に〳〵消ね去ると二人は手を取り合つて咽も裂くるばかりに聲上げて哭いた、二人の姿が◆氷截に忙し い漢江に現はれたのはそれから五六日經つた暖い日であつた

×　×　×　×

南の軟かい風が吹いて運翔の苦がいくらか膨みかけると漢江を閉して居た厚い氷は跡形もなく解けて松葉を積だ朝鮮船が船歌も長閑に徂徠する江岸の白い砂地は春の酷な陽を反射してゐる其の春の大江が鐵橋の脚臺を洗つてざわめきながら麻浦のあたりで藍靑の砥を敷いたやうに◆靜かな淵を 作つてゐる、渚に二三日前から赤なるものが浮いてゐて其上を鴉がぐる〳〵舞うて去らないと言ふ噂が立つて若い舟子等は物好き半分に舟を近づけて見ると思ひがけない男女の死骸が段々分腐爛しかけて浮いてゐた舟子等は愕いて逃げ去つた、其翌日の新聞に男は元龍山郵便局の配達夫木本良一（二三）女は朝日樓の抱娼妓八千代事京塚よしの（二二）久しい以前からの◆夫婦約束に 男は放蕩に身を持崩し遂ひに此の始末に及びたるなりと戀の經緯までが詳しく掲載されてあつた

◎金壹萬圓

◆富豪の妾の印章◆を僞造して詐取◆

大邱京町二丁目料理屋營業主徐丙術（三五）同人弟徐丙鎭（三七）達城郡壽城面金周洛（三〇）の三名は共謀の上去る大正五年十二月頃大邱南山町一丁目十番の一居住にして大邱富豪の妾なる韓女鐘（五七）の印章を僞造し同人所有の土地を抵當として大邱地方法院裏手に居住せる金貸業宮井正一氏より金一千餘圓を詐取したるを手始めに其後數回に亘り同樣の手段を以て數名より金一萬圓を詐取したる事此程に至り韓女鐘の知る處となり去る廿三日大邱警察署に告訴されたり

◎被名三名控訴して無罪

＝一名の妻は發狂して自殺

◇江陵の官有林盜伐事件

本籍大分縣宇佐郡豐川村當時江原道江陵邑內大和町居住元江陵郡書記生山寬彥（五三）島根縣八東郡講武村同江陵邑居住土木建築請負業木村長市（四〇）長崎縣北松浦郡御厨村同邑內居住木挽福田平吉（三〇）の三名は森林盜伐事件の刑事被告人として昨年八月中同時の江陵警察署長に檢擧され咸興地方法院元山支廳の豫審に附せられ

▽有罪と決 定し本年一月十一日元山支廳に於て木村長市は懲役八箇月、生山寬彥は同五箇月、福田平吉は同四箇月（兩名は何れも二年間執行猶豫）の判決を受けたり然るに右被告は之れを不服として京城覆審法院に控訴せり爾來同法院に於て審理の末二十五日公判開廷され塚原裁判長、原、籍田兩判事陪席寺田檢事立會ひ被告の辯護人としては生山に松本正寬、小川勝平兩氏木村福田の兩名には末尾辯護士出廷し事實の審問あり終て立會ひ檢事は有罪の論告をなし各辯護人は

▽無罪の辯 論をなす所ありしが二十七日午前塚原裁判長より犯罪の證據不充分として各被告共無罪の言渡しありたり之れが檢擧されたる次第を聞くに木村は江陵注文津間の道路工事を請負ひたる際其の橋梁用として松の立樹を拂下げんと出願し江陵郡遷谷面風登山外二箇所にて其の伐採許可を得たる際江陵郡廳の係官が

▽許可した る立樹の數、場所等杜撰なりしと公然の許可なき以前に許諾したりとてこれを奇貨として木村より百五十五本多くの松樹を盜伐し又生山は木村に工事の資金を貸付けある關係上木村福田の兩名が盜伐したる事情を知りながら貸金の抵當に受け取りたりと言ふにありしが結局證憑不充分として前記の判決ありしものなりと而して生山は

▽保釋を許 可され本年一月より京城に滯在し居れる中妻かつは江陵邑內の自宅にて精神に異狀を來して二月十五日拳銃を以て自殺を企てたるを居合はせたる雇人に防止されしが何夜又もや短刀を以て前頸部を突き刺して苦悶中を發見され應急手當を加へしも同月十九日遂に絕命したる悲劇ありと

◎瓦斯爆發

六名重輕傷

二十六日午後四時三十分福岡縣嘉穗郡高岡第二炭坑內にて瓦斯爆發し事務員外六名重輕傷を負へり（福岡電報）

ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず更に『フエノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を檢するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹼

化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂なし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衞生に適し、經濟に合する理想的實用品なり。

種類	
大形	家庭用
中形	携帶用
小形	旅行用
極小形	旅館用

內地以外は郵稅運賃を加ふ

◎發賣品目錄御申越次第送呈仕候

ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス

發賣元

東京市日本橋區橘町四丁目
藥種、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
登錄商號　丸見屋商店
電信略號〇ミヤ　振替貯金口座東京七一〇番　營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇

櫻御殿

第百八十五回　座敷牢（二十三）

大阪　霞の家主人

「誰ぞ無いか」

備後守正之は高く呼んだ、芳野が次の間から出づる

「お召しでござりましたか」

「餘の儀でない、淸之丞を處分してから、今日で幾日ほどにならうの」

「彼此れ、三十日を過ぎて居りませう」

『まだ存命か』

『夫らしうござります』

『不思議ぢやのう、大體の者は十五六日、よく／＼頑丈な人間でも二十日以上生きる者は少いに、淸之丞は三十日を經てまだ存命、眞實ではよもあるまい、誰か見屆けて參れと申せ」

芳野は畏つて退いた、淸之丞を隅櫓へ押し入れたのは、武士に對する極刑として、彼を餓死させようとの爲めであつた、此までの例から云ふと、一たび座敷牢へ入れられた者は、も早や存命の見込なしとして、多くは舌を噛んで死ぬる、假へ夫ほどの罪は無くても、十日十五日と經るほどに心亂れて、狂ひ死に死ぬものが多い、いかに氣著いて死を待つ者も、二十五六日程すると、倒れて起き上る者が無い、その間で淸之丞は無事に命を存へて居る

『全體何うなされたのであらう』と奥殿一ぱいでは噂が高い、もし御番衆の中に、お食事をさし上げる仁があるのではあるまいか喃』と云ふもあり『あの方の忠節を神佛が御憐愍になつて、人知れずお下げになるのではござるまいか』と云ふもあつた

その噂が聞こえたので、正之から芳野へ今日の沙汰が下つたのである

『淸之丞殿まだ御存命でござります、若殿御不審、一應篤と取り調べ參れとの御意、匆々御見屆け下さりませ」

芳野から奥家老へ通じると、奥家老はじつと考へた末、自ら實否を取り糺さうと決心した、奥家老は七十五六の老武士ながら元氣はまだ衰へない、一人で隅櫓の前へ行つた

見ると、番人が物々しく得物を取つて守つて居る、一道の夕陽が白壁を射て、日窓から入の氣が漏れる、奥家老はその窓の下に立つて

『淸之丞殿々々』と呼ぶと、淸之丞は元氣の好い聲を出して

『おゝ』と答へた

『手前は井上定右衛門ぢや』

『奥御家老、お見屆か御苦勞に存じ申す』と淸之丞は平生に變らぬ聲で云つた

彼は命に執着する者でない、されども無下に命の安賣をしようと云ふ者でもない、彼の双肩には重い任務が掛つて居る、それを果した上でなくては、心靜かに瞑目する事が能きない、斯うして命を繫いで居ても、一生天日を拜む時がないかも知れぬが、然しまた何う云ふ事で、晴天白日が見られるかも分らない、その時は蹶起して妖雲を排ひ除ける、お奥に蔓こる黒雲を攘つた後は、お上の仰せを待つまでもない、自ら進んで一命をさし上げる覺悟で居る

『一度お面が見たい、卒爾ながらお會ひ下さらぬか、手前お上の仰せを受けて、貴殿の御様子を見に參つた』

定右衛門は斯う云つた

『重ね／＼御苦勞ぢや、その仰せは大殿からでござるか、それとも若殿からでござり申すか』

『若殿の仰せ付けでござる』

『然うござらう』と淸之丞は容易に面を見せうとせず『手前今日まで無事に命を永へ居るを、若殿さぞ御不審に思召してござらうの』

御用　牛乳　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

寂光集

三月廿六日夜雨　芳子

一人來しこゝの小庭の山吹の溜はまろし雨晴れし朝

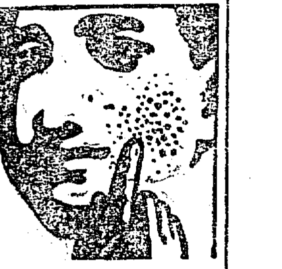
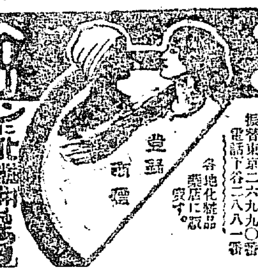
逸迦の枝もたわゝに花咲ける門なまめかし雨ふるゆふべ

不案

歌

諸者の領分

△南大門驛に集まつてゐる俥に豫じめ値段を決めずに乘ると行つた先で法外の賃金を要求されるのには顛る閉口すると同時に癪に障る、驛前に賃表の掲示があるけれどもそんなのは彼等の眼には無いらしい、京城に住んで居る者でさへ彼等の不當の要求に遭ふのだから地方人の迷惑は察するに餘りあると思ふ、相當の取締り方法を講ぜられたし（赤電燈）△貴紙の心中物語は面白く愛讀いたして居ります京城には娼妓の心中は隨分多いやうですが藝者で心中したといふ者を一人も聞きませんね、心中する程情熱のある女がゐないと見はれますかな（素寒貧居士）△京城第一の交通頻繁なる本町道路を六間幅に早く改修したいもんだ南大門外龍山方面の發展と共に南山を圍繞したる中央道路も必要である（早急生）△過日は讀者の餘分に御出し被下誠に有がたく御禮申上候御蔭樣にて商品券のみ手元にもどり申候落とした場所とひろつてお屆け被下し場所とちがひ居り候其間にて現金は消はうせ申候由其筋にても不思議になして居られ候先は御禮に御禮まで（某女）△前週の京城新聞公開欄掲載の京城工業專門學校附屬傭習所の記事は事實なるや若し事實とすれば實に學界の一問題にして同校生徒及び其父兄の受るは固より同校の爲め大に悲しむもの也敢て當局者に問ふ速に同記事に對し其疑惑を氷解せしめ併せて前途多望なる青年子弟の方向を誤らしめざるやう努むるの意なきや（風鶴生）

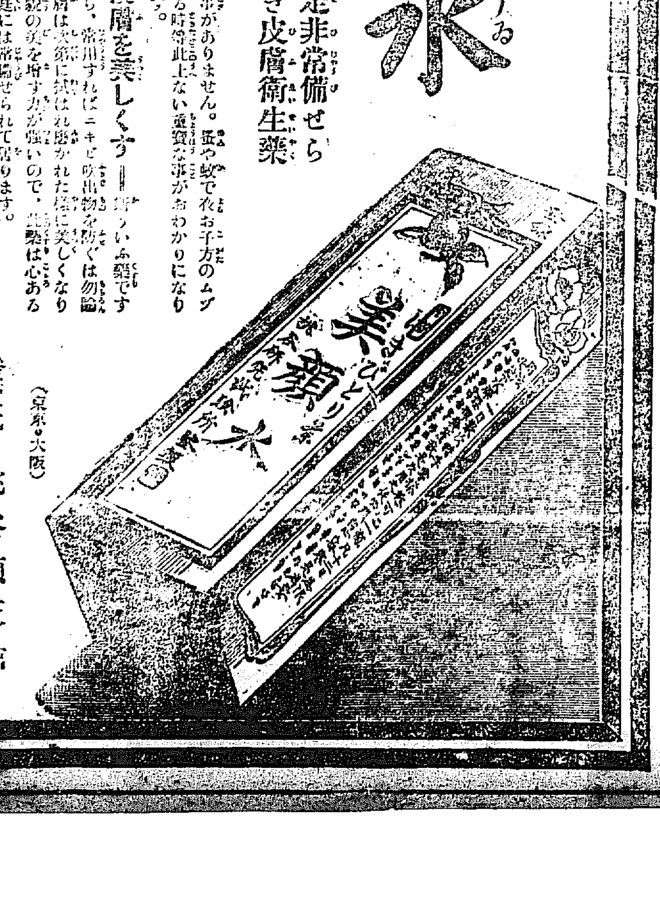
白色新劑　ベーリーン　にきび　そばかす

發賣元　博仁

各地化粧品藥店に販賣す

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版・亞鉛版　京城日報社寫眞製版部

りん病ばい毒患者諸君　ワにせドラッグあり御注意　詐欺漢なり　京城南大門外停車場通　ドラッグ商會



にきびとり　美顔水

心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衞生藥

（一）ニキビ、吹出物＝婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は顔面のニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

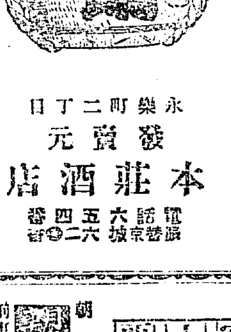
（二）蚤、蚊、南京虫＝其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺へず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊でお子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

（三）皮膚を美しくす＝斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれた樣に美しくなり容貌の美を増す力が強いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります。

（定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢）

發賣元　桃谷順天館（東京・大阪）

優等清酒



永樂町二丁目　發賣元　本荘酒店　電話京城六五四二六番

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門前）　酒井婦人病院　院長　酒井一郎

業務繼承廣告

弊商會儀從來故ウォルター、デタウンセンドに於て經營罷在候處同氏の遺言に據り今般全業務を拙者に於て繼承致す事と相成候間不相變御愛顧御引立の程偏に奉願上候

タウンセンド商會　ゼー、デー、アトキンソン

安蘇善四郎著　朝鮮鑛床學及探鑛

四六版二百五十頁　定價金一圓廿錢　上製金一圓四十錢　送料六錢

內容大要

△地質學　岩石通論　火成岩水成岩現出の狀態　岩石各論　地殼の變遷

△鑛物通論　鑛物の一形態　鑛物の物理的性質　成生及原因　分析及鑑定

△鑛物特論　造岩鑛物　鑛石類　脈石類

△探鑛法　鑛石の露頭

△地質鑛石　地質大要　鑛石の地質的分布　各道の地質及鑛山

附錄　▽鑛石分析及鑑定表△　朝鮮鑛業令△

發行所　京城本町二丁目　ウツボヤ書籍店

朝鮮總督府編　四六判二百頁　定價五十錢　送料六錢

朝鮮學術研究會編

三月一日發行　改訂五版　定價八十錢　送料八錢

常平庵主人　朝鮮古錢價格圖譜　近刊

發賣元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

大賣捌　大阪屋號　日韓書房　巖松堂

（越）　春衣大賣出し

よせぎれ見切反物

四月一日より五日まで五日間

澤山取揃へ申候

京城本町　三越呉服店

大阪株式市場（二十七日前場）

大阪商船　一九一、九〇

日本郵船　一九一、三〇

仁川期米（二十六日後場）